

# 2019年度 東北広域デジタルマーケティング事業 報告書・訪東北外国人動態調査

＜モバイル空間統計による動態調査レポート＞

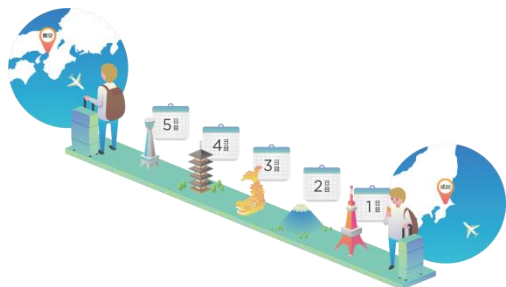


2019年3月  
一般社団法人東北観光推進機構

# 今回活用した・・・モバイル空間統計 「訪日外国人動態推計」のご説明



## モバイル空間統計® 訪日外国人動態推計



“いつ” “どんな人が” “どこから” “どこに”  
動いたかが分かる、新たな人口統計サービス

**訪日外国人900万人(2018年時)の動態をカバー**

① 国・地域別人口



② 周遊エリア



③ 時間帯別



### <わかること>

日本の該当エリア内に旅行滞在する訪日外国人の延べ人数を、国(エリア)別に推計することが可能です。前後滞在地別、イベント期間別、1kmメッシュ地点別など、さまざまな切り口で分析できます。時間帯や期間を指定することで、観光（日中帯）や宿泊（夜間帯）の判別、季節ごとの傾向を知ることができます。

### <作成手順>

携帯電話サービスを提供する上で必要となるデータのうち電話番号のような個人を識別できる情報を使用しません。国(エリア)別などで携帯電話の台数を数え(2018年時点約900万台) さらにドコモ携帯電話の普及率を加味することで、訪日外国人全体を推計します。また少人数エリアの数値は除去します。統計的に少数であることで個人を推測されやすくなる場合があり、これを防ぐために行います。

### <拡大推計>

訪日外国人(法人名義除く)の携帯端末の入国から出国までの移動情報を拡大推計します。拡大推計先の公的統計は法務省の出入国管理統計「国籍・地域別入国外国人の在留資格」の総数から再入国者数を減算した数値です。

# 目 次

## < 1. 動態調査・モバイル空間統計による・春のイベント分析>

… P 3 ~

- (0) 考察・インサイト
- (1) どの国の旅行者が春のイベント観光したか？ 宿泊したか？  
(今後ポテンシャルが期待できる国は)
- (2) 春のイベント観光時、東北他県への同時広域周遊率は？
- (3) その他資料

## < 2. 動態調査・モバイル空間統計による・夏のイベント分析>

… P 26 ~

- (0) 考察・インサイト
- (1) どの国の旅行者が夏のイベント観光したか？ 宿泊したか？  
(昨年と比較すると前年比は？)
- (2) イベント別・・・観光時、東北他県への同時広域周遊率は？
- (3) その他資料

## < 3. 動態調査・モバイル空間統計による・新幹線と高速道路による東北流入の変化分析>

… P 47 ~

- (1) 東北 6 県と県別の変化の比較
- (2) 県別の変化を国籍別に追跡
- (3) 資料 県別の変化の詳細

## < 4. 動態調査・モバイル空間統計による・(1k)メッシュ単位エリアの変化分析>

… P 62 ~

- (1) ランキング 20 位エリア中大幅アップした箇所とは  
(前年から上昇した箇所の旅行者はどこが貢献したか？)
- (2) 上記以外・・・県別で大幅アップした箇所と貢献した国とは？  
(今後増加が期待される国とは？)

## ＜ 1. 動態調査・モバイル空間統計による・・春のイベント分析＞

---

## (0)考察・インサイト

＜参考＞ 2018年1-12計の訪東北外国人の国籍別シェアは・台湾37%,香港7%,中国17%,タイ5%,米国5%

- 1) 東北の春の7イベント合計の国籍別シェアを、昨年1年の訪東北国籍シェアと比較した。**香港のシェアは14.5%でおおよそ2倍の水準**であることがわかった。**香港旅行客のリポートが重要**になる
- 2) 同様に**タイのシェアは8.9%で4ポイント増**となった。**イベント別の詳細を見るとシェアはまだまだ**なのでマーケティングによって**まだまだ伸びる可能性が高い**と考察する。
- 3) **中国は**昨年1年計の国籍シェア17%に比べ、**春のイベントシェアは10.7%で低い**。今後のポテンシャルが高い国なので**しっかり課題形成**しておく必要がある。**中国は春に複数の3連休があるので、その連休に併せ体験イベントなどの造成**していく必要があると考察する。
- 4) **中国は**他国以上に**親子が喜ぶことを旅行の条件**にするのでイベント訴求時に、子連れケアの訴求ポイントを造成することも有効である。
- 5) **台湾は**昨年の訪東北**国籍シェアと同等**の水準、客数が多い国なので**しっかり確保**していく。
- 6) 宿泊者は通常の上位国以外に世界の様々な国から来ており、その他宿泊シェアが高くなっている。上位国に国籍を絞った誘客とは別に、リポーターのための個別施策がとても重要であることを示す。
- 7) 重要ポイントの、**イベントを起点とした他県広域周遊の実態はP11からP17に詳しくコメントした。**

( 1 ) どの国の旅行者が春のイベント観光したか？ 宿泊したか？  
(今後ポテンシャルが期待できる国は)

---

# 今期の春イベント 外国人観光者国別シェア

(左：(日中の)観光者 右：宿泊者)

<参考> 2018年1-12計の訪東北外国人の国籍別シェアは・台湾37%,香港7%,中国17%,タイ5%,米国5%だった。

- 1) 東北の春の7イベント計の国籍別シェアを昨年1年の訪東北国籍シェアと比較・2倍水準と高い国籍シェアになったのは香港(14.5%)とタイ(8.9%) タイは個別のイベントの差がまだ大きい、4月のソクラン、仙台直行便等の好要因により、今後さらに伸びる可能性が高い
- 2) 中国は昨年1年計の国籍シェア17%に比べ、春のイベントシェアは10.7%で低く、今後のポテンシャルが高いと見る。  
(中国は春の複数の3連休を利用した海外旅行がブーム、親子に配慮したコンテンツ付きの訴求が効くので春の誘客増加のポイントとなってくる)
- 3) 台湾は昨年の訪東北国籍シェアと同等の水準
- 4) 宿泊者は上位国以外にその他国のシェアが高い。国籍を絞った誘客とは別に、リピーター施策がとても重要であることを示す。

## 春のイベント(観光者)<国籍別>

	7イベント計 n=36733	弘前さくらまつり n=13243	北上展勝地さくらまつり n=5172	仙台・青葉まつり 青葉区外 n=2423	角館さくらまつり n=6537	天童桜まつり n=2062	鶴ヶ城さくらまつり n=5676	高田城百万人観桜会 n=1620
台湾	37.4	30.9	46.5	41.3	47.7	50.8	30.6	21.5
香港	14.5	13.4	14.6	8.4	16.9	8.4	17.1	20.7
中華人民共和国	10.7	17.8	7.4	11.6	7.9	5.7	3.0	6.8
タイ	8.9	6.8	9.1	4.0	6.1	-	21.6	10.1
アメリカ合衆国	5.9	5.6	3.4	11.5	5.0	5.4	6.5	9.4
オーストラリア	3.6	5.0	3.5	-	3.8	-	2.1	6.4
大韓民国	1.7	3.1	-	-	-	-	-	3.9
シンガポール	1.7	1.7	2.3	-	1.6	2.7	-	3.5
インドネシア	0.8	2.1	-	-	-	-	-	-
ベトナム	1.3	-	-	-	-	-	8.3	-
イギリス	0.6	1.1	-	-	-	-	1.4	-
フランス	0.8	1.3	-	-	1.5	-	-	-
フィリピン	0.7	1.9	-	-	-	-	-	-
カナダ	0.5	1.5	-	-	-	-	-	-
ポーランド	0.2	0.5	-	-	-	-	-	-
スイス	0.2	0.2	-	-	0.6	-	-	-
スウェーデン	0.1	-	-	-	-	1.7	-	-
その他	10.6	7.2	13.1	17.1	8.9	25.3	7.9	17.8

「-」箇所は個人情報保護の観点から非開示

## 春のイベント(宿泊者)<国籍別>

	7イベント計 n=11305	弘前さくらまつり n=3377	北上展勝地さくらまつり n=743	仙台・青葉まつり 青葉区外 n=2025	角館さくらまつり n=1189	天童桜まつり n=1783	鶴ヶ城さくらまつり n=1720	高田城百万人観桜会 n=468
台湾	36.1	29.0	35.4	48.3	34.8	53.7	28.4	-
香港	13.5	13.6	15.9	8.9	20.0	9.5	17.6	12.8
中華人民共和国	11.8	19.6	11.7	10.9	10.2	5.6	4.4	14.5
タイ	5.7	6.1	-	3.6	-	-	21.2	-
アメリカ合衆国	6.5	4.9	-	9.7	5.0	5.4	9.8	10.9
オーストラリア	4.3	7.6	-	-	11.3	-	5.2	-
大韓民国	2.1	4.6	-	4.3	-	-	-	-
シンガポール	1.2	2.3	-	-	-	3.1	-	-
その他	18.8	12.2	37.0	14.3	18.7	22.8	13.5	61.8

「-」箇所は個人情報保護の観点から非開示

# 今期の春イベント 国籍別観光者シェアを、直近の冬イベント併せて、傾向を見る

＜参考＞ 2018年1-12計の訪東北外国人の国籍別シェアは・・・台湾37%,香港7%,中国17%,タイ5%,米国5%だった。

- 1) 昨年計の訪東北の国籍別シェアに比べ、香港は冬・春と一貫してシェア水準が高い（＝イベント好き・イベントが効く）
- 2) タイも一貫してシェア水準が高い。タイはまだイベント間の差が大きく、まだらなので、今後伸びる可能性大（ツアーがキーか）
- 3) 中国は去年の国籍シェア17%に比べ、冬と春のイベントのシェアは低い。まだポテンシャルがあるといえる。

## 春のイベント（観光者）＜国籍別＞

	7イベント 計 n=36733	弘前さくら まつり n=13243	北上展 勝地さくら まつり n=5172	仙台・青 葉まつり 青葉区外 n=2423	角館さくら まつり n=6537	天童桜ま つり n=2062	鶴ヶ城さ くらまつり n=5676	高田城 百万人 観桜会 n=1620
台湾	37.4	30.9	46.5	41.3	47.7	50.8	30.6	21.5
香港	14.5	13.4	14.6	8.4	16.9	8.4	17.1	20.7
中華人民共和国	10.7	17.8	7.4	11.6	7.9	5.7	3.0	6.8
タイ	8.9	6.8	9.1	4.0	6.1	-	21.6	10.1
アメリカ合衆国	5.9	5.6	3.4	11.5	5.0	5.4	6.5	9.4
オーストラリア	3.6	5.0	3.5	-	3.8	-	2.1	6.4
大韓民国	1.7	3.1	-	-	-	-	-	3.9
シンガポール	1.7	1.7	2.3	-	1.6	2.7	-	3.5
インドネシア	0.8	2.1	-	-	-	-	-	-
ベトナム	1.3	-	-	-	-	-	8.3	-
イギリス	0.6	1.1	-	-	-	-	1.4	-
フランス	0.8	1.3	-	-	1.5	-	-	-
フィリピン	0.7	1.9	-	-	-	-	-	-
カナダ	0.5	1.5	-	-	-	-	-	-
ポーランド	0.2	0.5	-	-	-	-	-	-
スイス	0.2	0.2	-	-	0.6	-	-	-
スウェーデン	0.1	-	-	-	-	1.7	-	-
その他	10.6	7.2	13.1	17.1	8.9	25.3	7.9	17.8

「-」箇所は個人情報保護の観点から非開示

## 冬のイベント（観光者）＜国籍別＞

	合計 n=11189	八戸えん ぶり n=327	いわて雪 まつり n=682	sendai 光のペー ジェント n=7304	横手かま くら n=549	上杉雪 灯籠まつ り n=482	大内宿 雪まつり n=1353	十日町 雪まつり n=492
台湾	26.9	30.9	22.7	27.5	14.8	38.2	31.6	9.6
香港	15.1	25.1	22.9	13.9	9.8	13.7	16.3	17.7
中華人民共和国	8.9	19.6	9.5	11.0	0.0	13.3	-	-
タイ	12.2	-	-	8.8	39.2	-	37.6	-
アメリカ合衆国	6.5	-	-	9.3	-	-	-	8.7
オーストラリア	3.4	-	13.8	3.9	-	-	-	-
大韓民国	4.2	-	11.4	5.3	-	-	-	-
シンガポール	1.6	-	-	2.5	-	-	-	-
インドネシア	2.8	-	-	4.2	-	-	-	-
イギリス	0.6	-	-	0.9	-	-	-	-
マレーシア	1.4	-	-	2.2	-	-	-	-
ドイツ	0.6	-	-	0.9	-	-	-	-
メキシコ	0.4	-	-	0.5	-	-	-	-
その他	15.6	24.5	19.6	8.9	36.2	34.9	14.4	64.0

「-」箇所は個人情報保護の観点から非開示



# 今期の春イベント 国籍別**宿泊者**シェアを、直近の**冬**イベント併せて、傾向を見る

＜参考＞ 2018年1-12計の訪東北外国人の国籍別シェアは・・・台湾37%、香港7%、中国17%、タイ5%、米国5%だった。

・春・冬イベント時の宿泊に絞ったシェアは、台湾⇒香港⇒中国⇒タイの順で多い

（右記の冬イベント時の、モーニング・ナイトタイムエコノミーの必要性、コンテンツの拡充は道半ばの可能性。冬イベントは別途手間をかけた解析が必要）

## 春のイベント(宿泊者)＜国籍別＞

	イベント計 n=11305	弘前さくらまつり n=3377	北上展勝地さくらまつり n=743	仙台・青葉まつり 青葉区限定 n=2025	角館さくらまつり n=1189	天童桜まつり n=1783	鶴ヶ城さくらまつり n=1720	高田城百万人観桜会 n=468
台湾	36.1	29.0	35.4	48.3	34.8	53.7	28.4	-
香港	13.5	13.6	15.9	8.9	20.0	9.5	17.6	12.8
中華人民共和国	11.8	19.6	11.7	10.9	10.2	5.6	4.4	14.5
タイ	5.7	6.1	-	3.6	-	-	21.2	-
アメリカ合衆国	6.5	4.9	-	9.7	5.0	5.4	9.8	10.9
オーストラリア	4.3	7.6	-	-	11.3	-	5.2	-
大韓民国	2.1	4.6	-	4.3	-	-	-	-
シンガポール	1.2	2.3	-	-	-	3.1	-	-
その他	18.8	12.2	37.0	14.3	18.7	22.8	13.5	61.8

「-」箇所は個人情報保護の観点から非開示

## 冬のイベント(宿泊者)＜国籍別＞

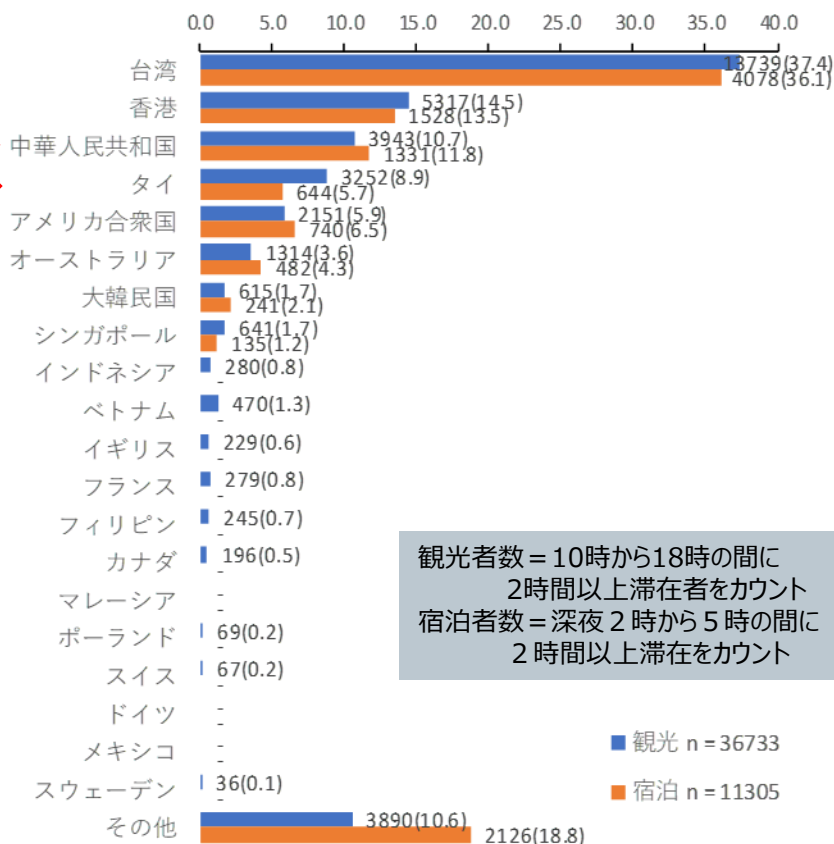
	合計 n=6904	八戸えんぶり n=126	いわて雪まつり n=493	sendai光のページェント n=5700	横手かまくら n=245	上杉雪灯籠まつり n=129	大内宿雪まつり	十日町雪まつり n=211
台湾	31.5	-	47.5	34.1	-	-	-	-
香港	14.7	-	23.9	15.7	-	-	-	-
中華人民共和国	9.3	-	-	11.3	-	-	-	-
タイ	6.1	-	-	7.4	-	-	-	-
アメリカ合衆国	5.6	-	-	6.8	-	-	-	-
オーストラリア	3.1	-	-	3.8	-	-	-	-
大韓民国	3.5	-	-	4.2	-	-	-	-
シンガポール	1.9	-	-	2.3	-	-	-	-
メキシコ	0.4	-	-	0.5	-	-	-	-
その他	23.8	100.0	28.6	13.9	100.0	100.0	-	100.0

「-」箇所は個人情報保護の観点から非開示

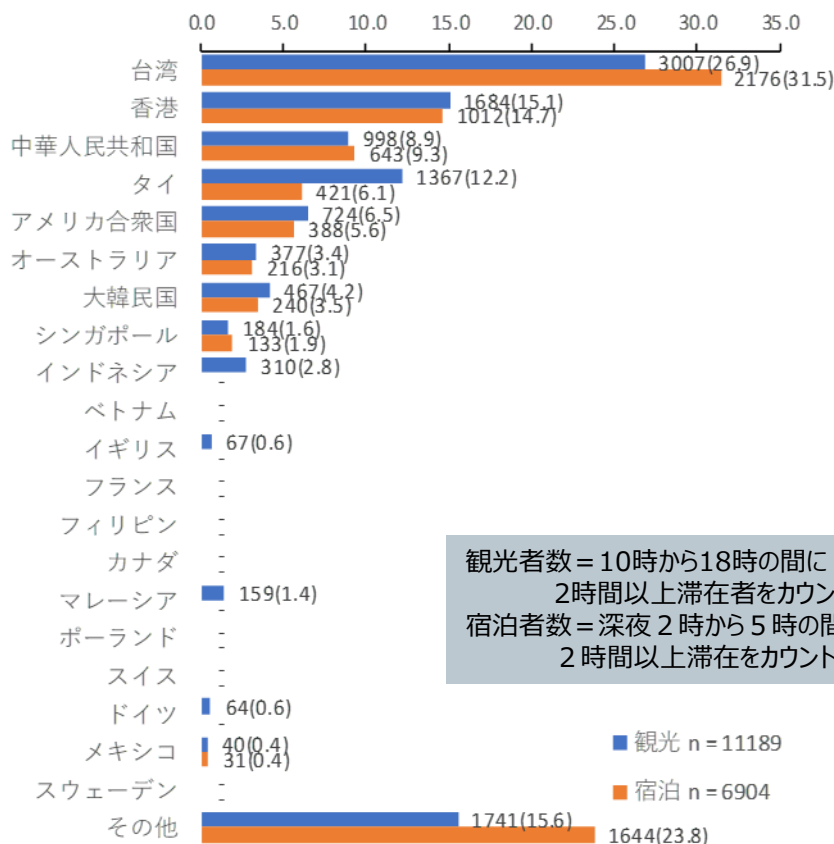
# 今期の春7イベント計の国籍別観光・宿泊実数を、直近の冬イベント併せて傾向を見る

- 1) タイは観光者が牽引しているが(仙台直行便就航の好要因もあり)今後イベントを起点に、宿泊価値造成と訴求が重要に
- 2) 中国は宿泊者が多い構造、中国国内の旅行サイト等でイベントの認知度を上げていく必要がある

## 7県の春のイベント（国籍別）



## 7県の冬のイベント（国籍別）



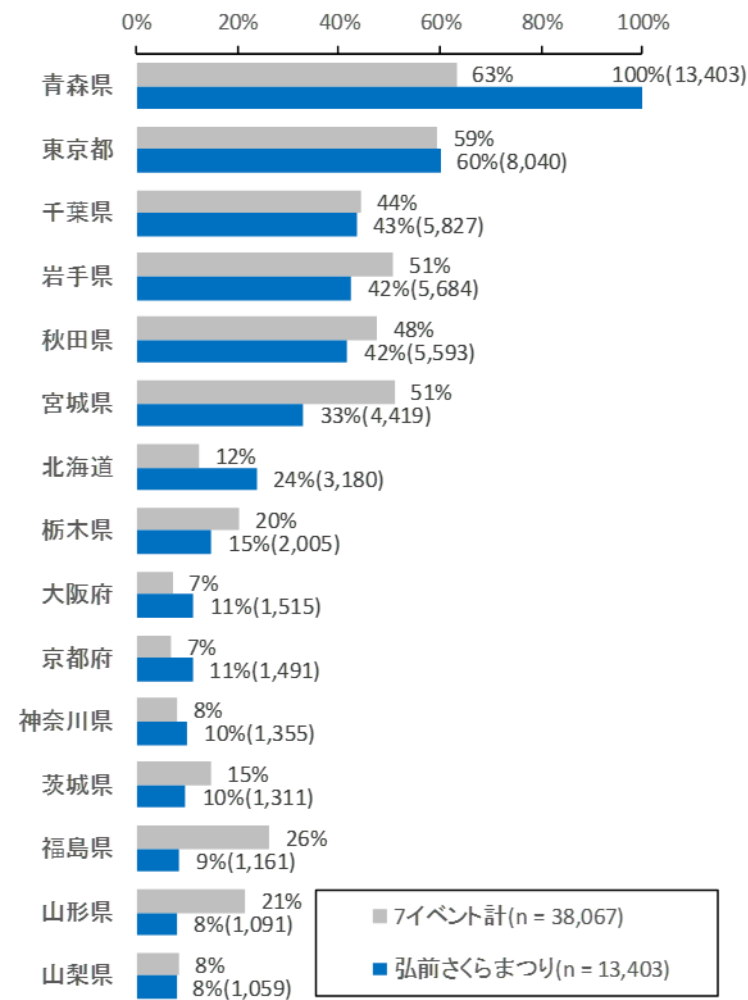
(2) 春のイベント観光時、東北他県への同時広域周遊率は？

---

# イベント別 <青森> 弘前さくらまつり 観光前後の他県広域周遊率

1. 東京との前後周遊率は60%で1位
2. 近隣岩手・秋田の周遊率高く42%
3. 宮城との周遊率33% 東北南部との周遊は10%以下（宮城周遊率は7イベント平均より2割少ないので宮城起点の広域プランを造成検討したい）
4. 北海道との周遊率は24%
5. 大阪・京都との周遊実態も11%あり

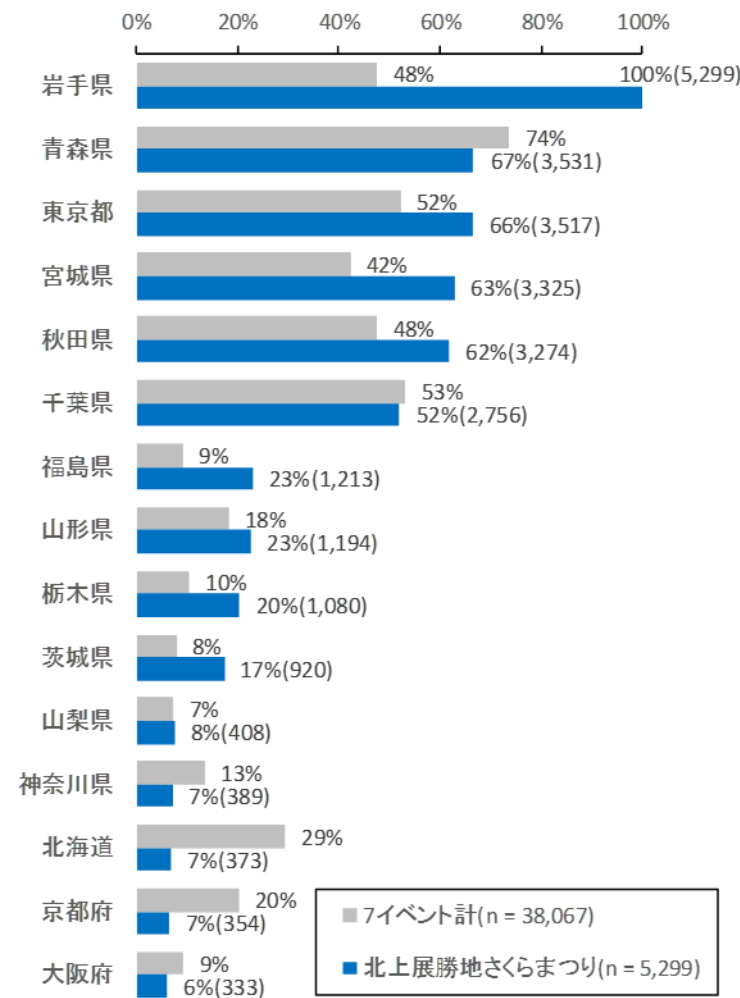
## 弘前さくらまつり(青森県)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間イベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

1. 青森と東京との同時周遊率が最上位(65%強)
2. 近隣の宮城・秋田との周遊率も60%強で高い
3. 福島・山形との周遊率も23%で7イベント平均と同水準
4. 北海道との周遊率は7%に留まる

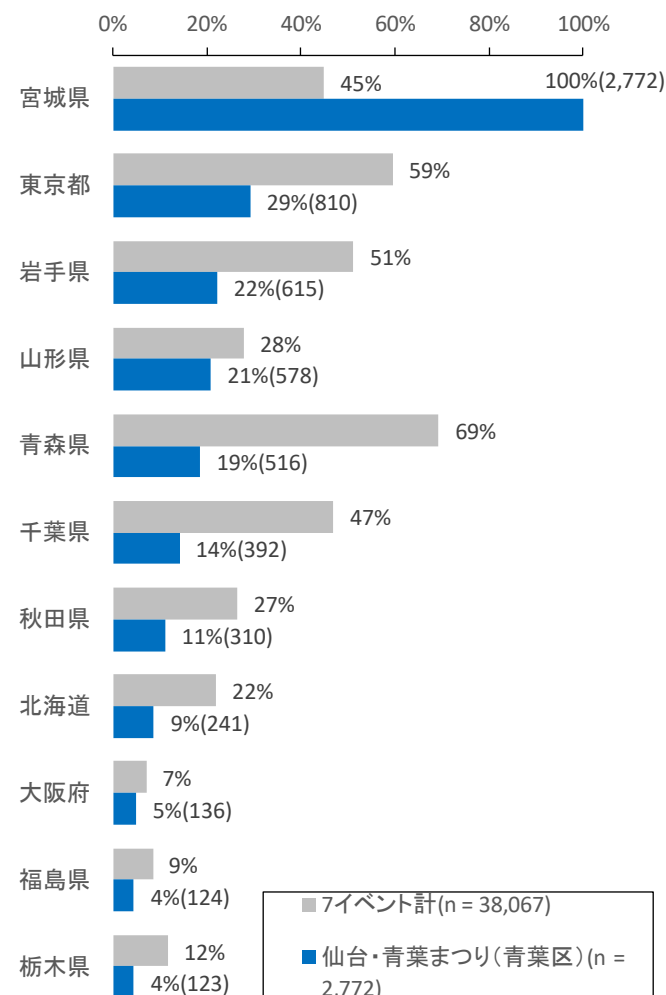
## 北上展勝地さくらまつり(岩手県)



他県数値はイベント前・後両方から  
 期間はイベントと同期間のみ  
 数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

1. 最上位は東京だが、岩手、山形、青森との同時周遊率も東京に次いでいる(東京との差小さい)
2. 秋田11%,福島4%に留まる
3. 北海道(9%)大阪(5%)の周遊実態もあり

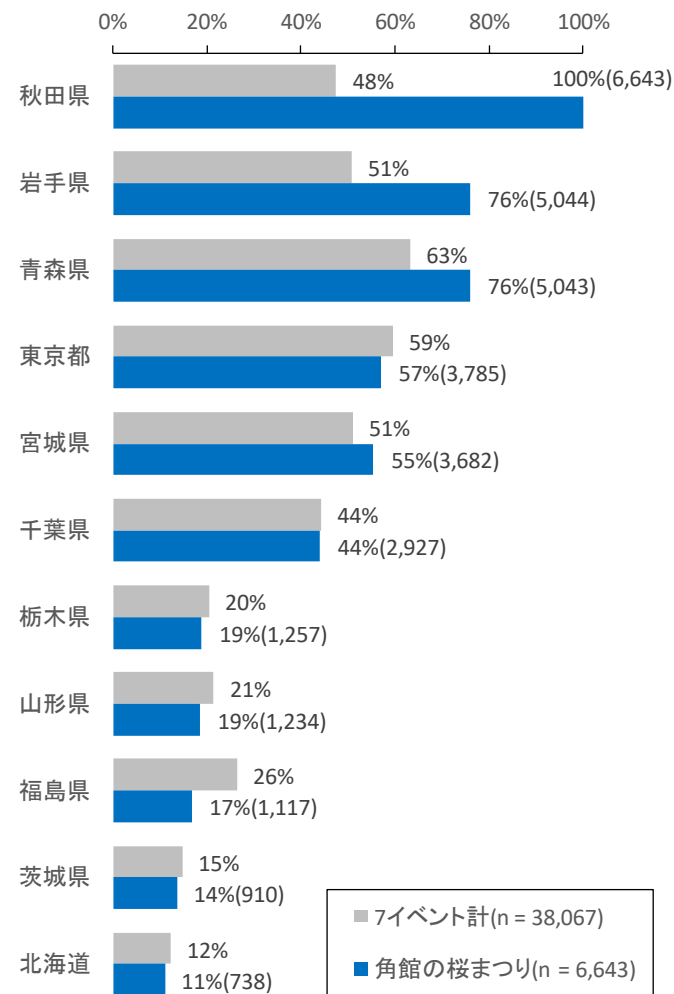
仙台・青葉まつり(青葉区)(宮城県)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

1. 岩手、青森との同時周遊率が最上位(75%強)
2. 宮城との同時周遊率も東京と同等の55%
3. 造成等で訴求強化したいのは10%台後半の  
周遊実態がある山形(19%)福島(17%)
4. 関西(大阪・京都)からの周遊実態も各々  
7%(約440人)あり

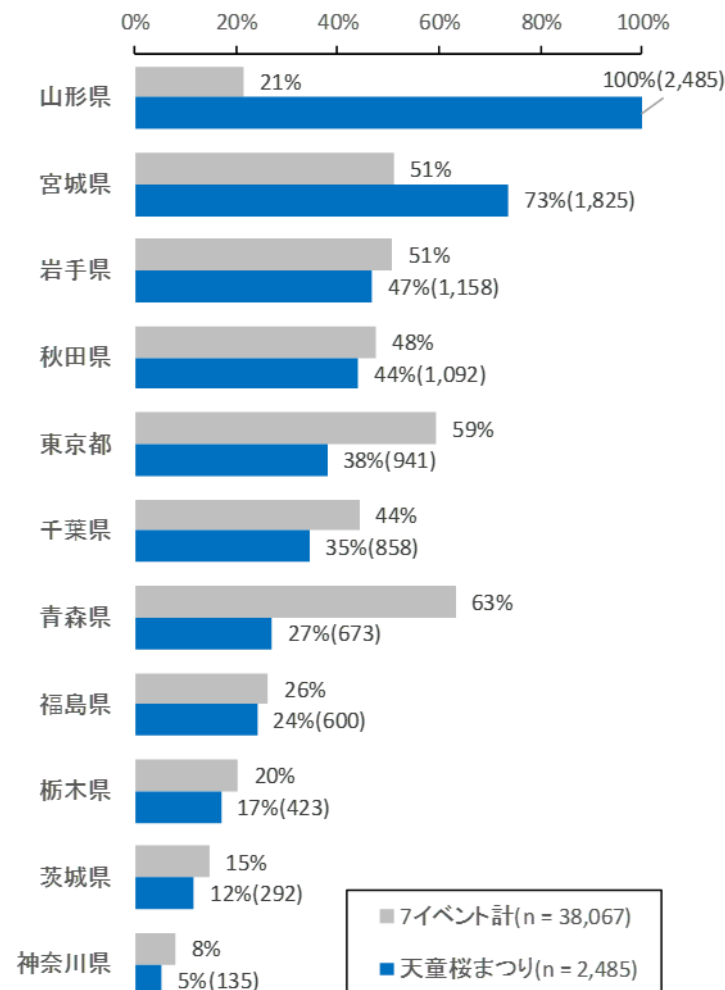
角館の桜まつり(秋田県)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

1. 宮城との同時周遊率が73%と大変高い
2. 岩手(47%)・秋田(44%)との同時周遊率も  
東京(38%)より高い
3. 青森(27%)・福島(24%)との周遊実態も  
4人に1人は周遊と高い

天童桜まつり(山形県)

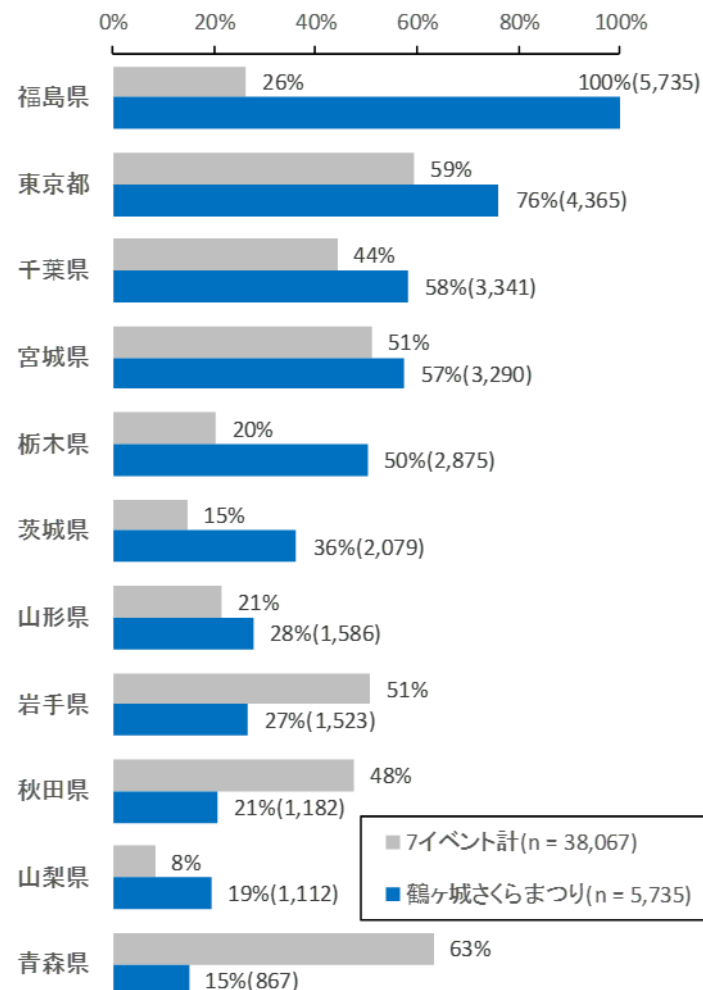


他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)



1. 東京との同時周遊率が大変高い(76%)
2. 宮城との同時周遊率も高い5割以上(57%)
3. 栃木との同時周遊率も5割と高い
4. 山形、岩手、秋田との周遊実態が2割強あり

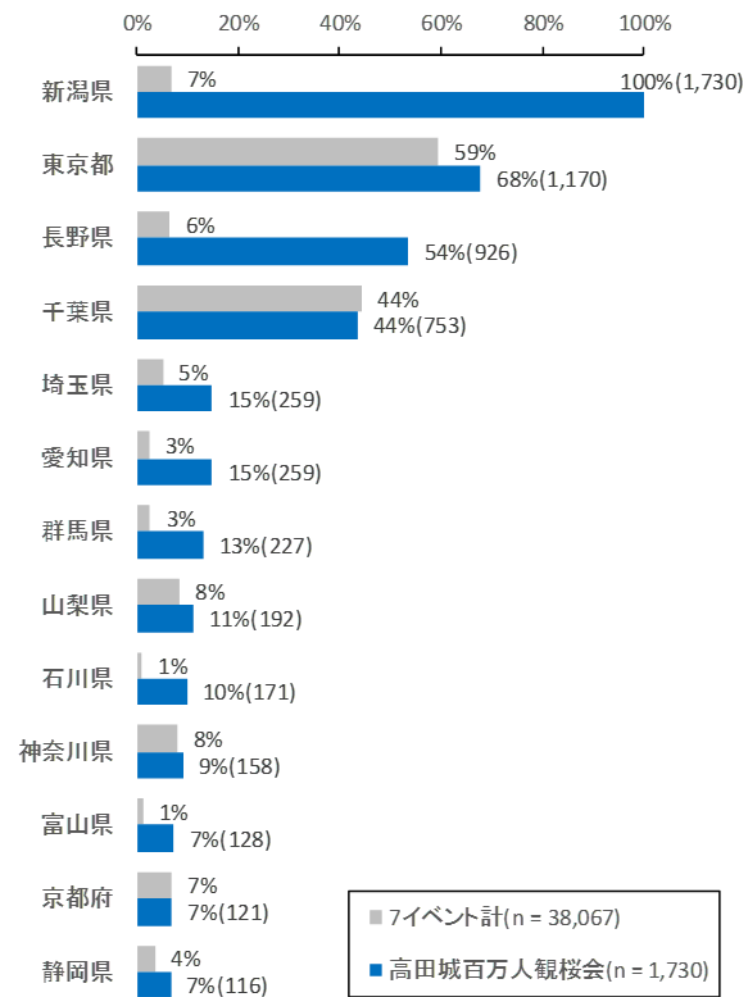
鶴ヶ城さくらまつり(福島県)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間イベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

1. 東京との同時周遊率が大変高い(68%)
2. 長野との同時周遊率も高い(54%)
3. 福島、宮城との同時周遊は5% (90人)

## 高田城百万人観桜会(新潟県)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

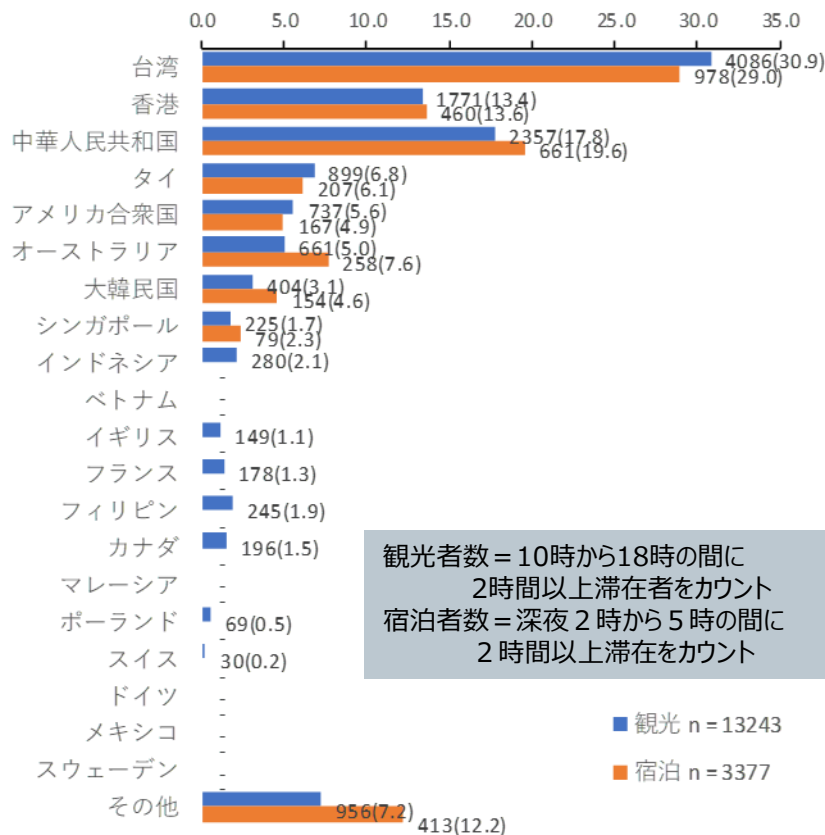
### （３）その他資料

---

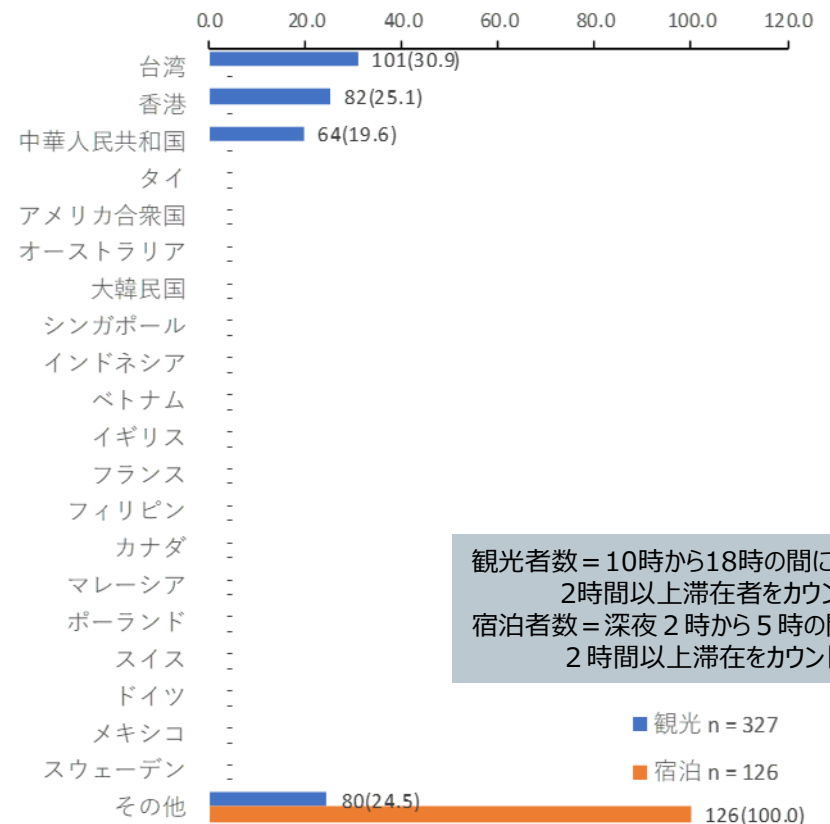
# イベント別 <青森> 弘前さくらまつり

- 全体傾向に比べ、中国と豪州の宿泊者が多い

青森県の春のイベント弘前さくらまつり（国籍別）



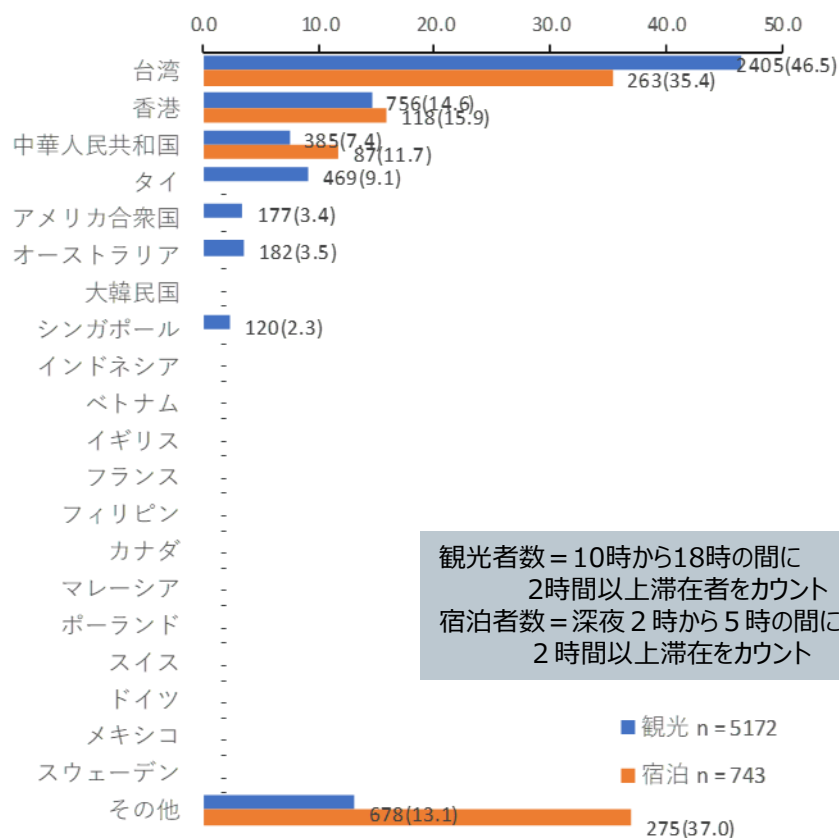
青森県の冬のイベント八戸えんぶり（国籍別）



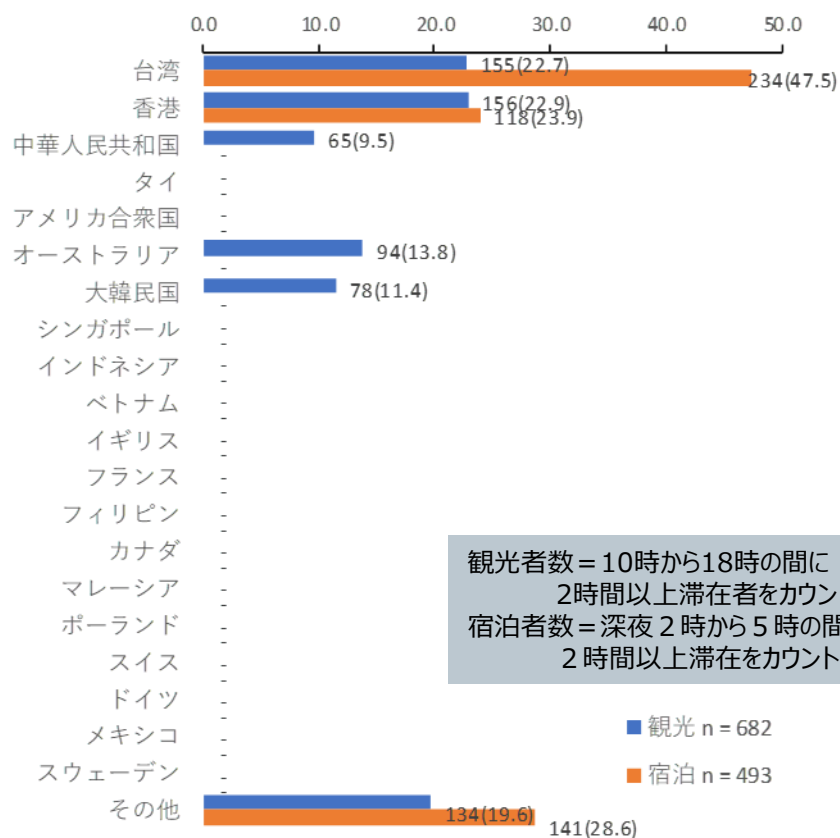
# イベント別 <岩手> 北上展勝地さくらまつり

- 現状は、台湾と香港が牽引している（今後は今以上に中国とタイ中心に深耕させたい）

岩手県の春のイベント北上展勝地さくらまつり（国籍別）



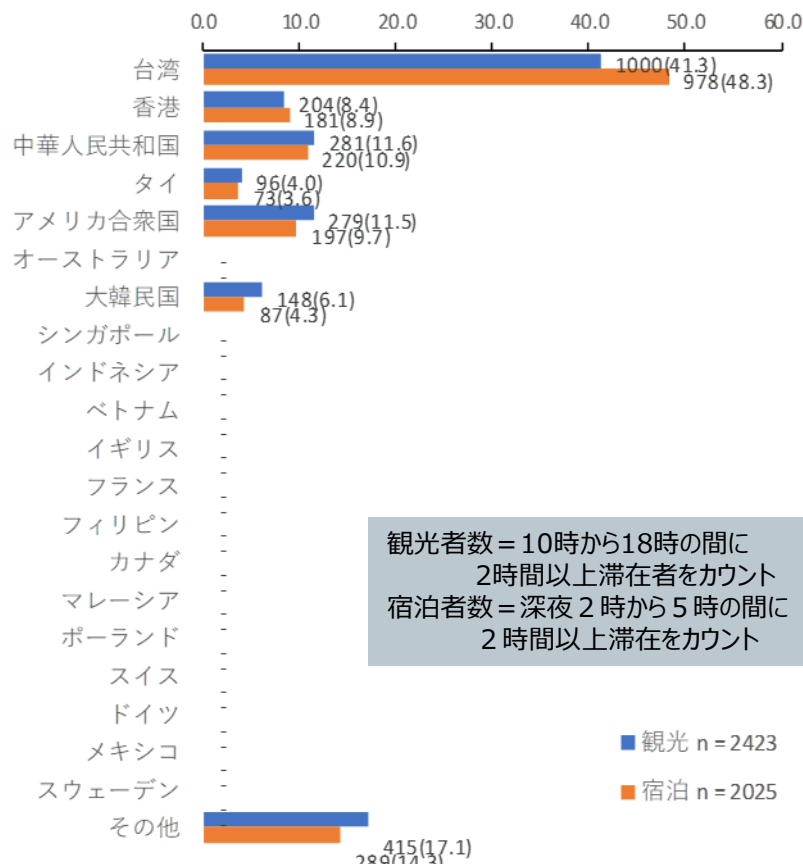
岩手県の冬のイベントいわて雪まつり（国籍別）



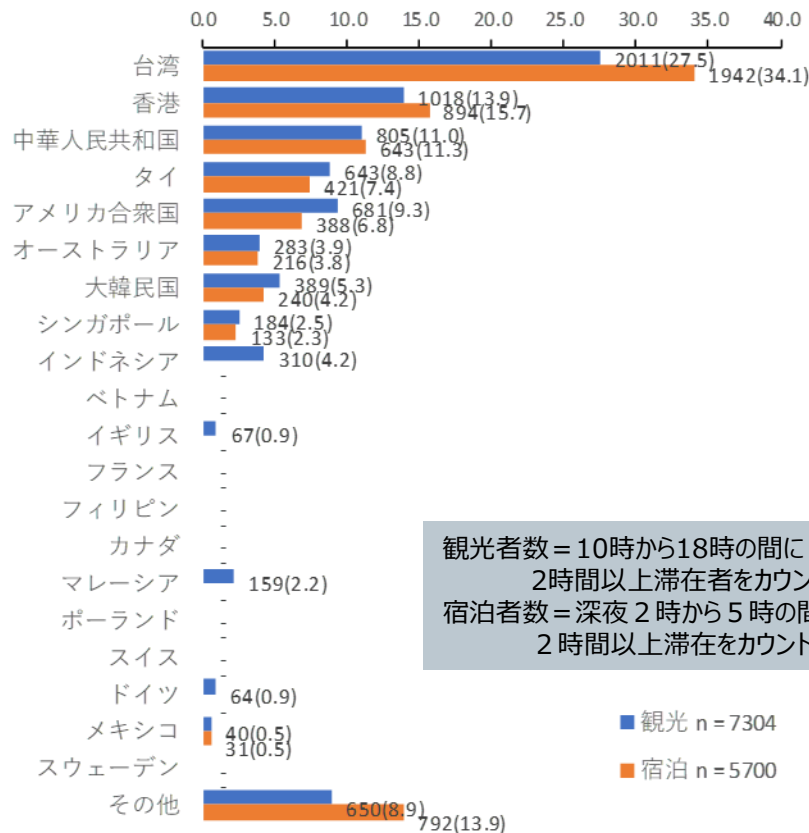
## イベント別 <宮城> 仙台・青葉まつり

- 他県のイベントと比較して、台湾と米国の観光者数が多い。冬と比較しても他国シェアを上げる施策を検討したい。

宮城県の春のイベント仙台・青葉まつり（国籍別）



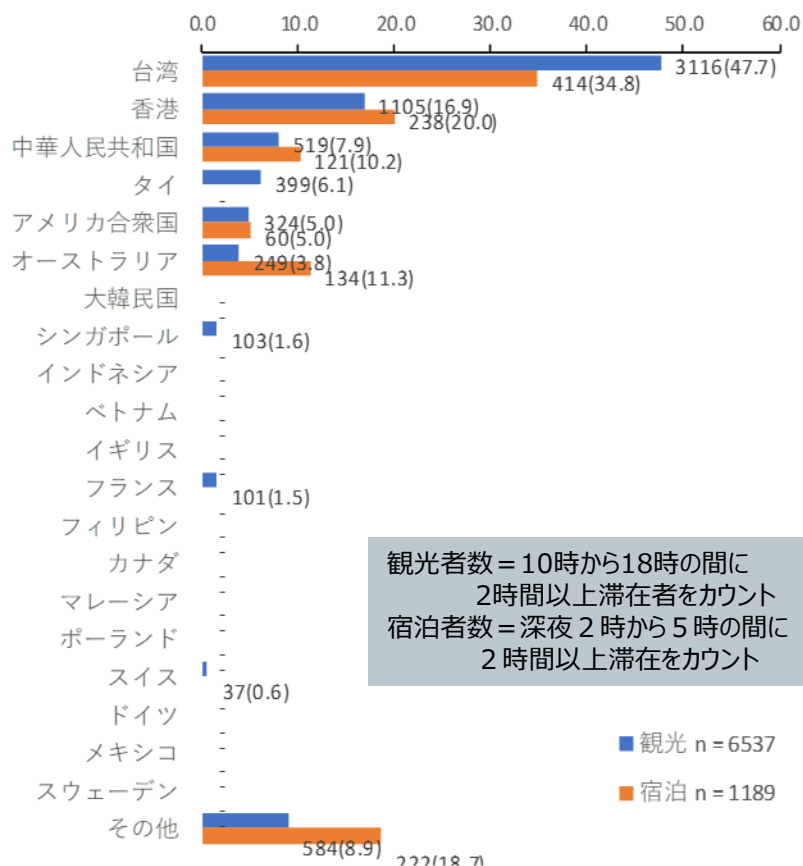
宮城県の冬のイベントsendai光のページェント（国籍別）



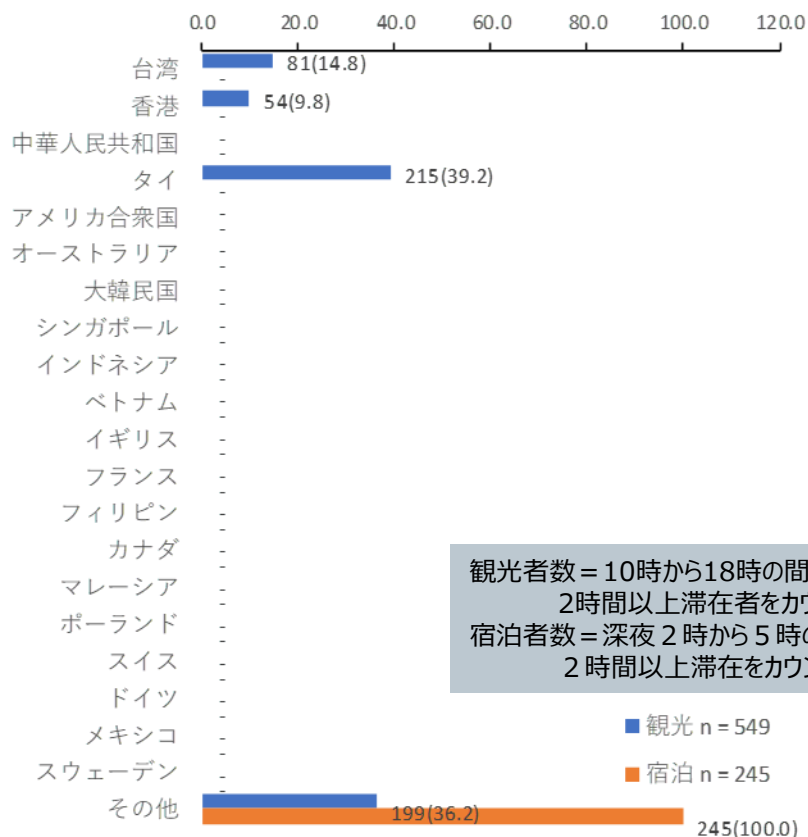
# イベント別 <秋田> 角館の桜まつり

- 全体傾向に比べ、香港と豪州の宿泊者が多い

秋田県の春のイベント角館の桜まつり（国籍別）



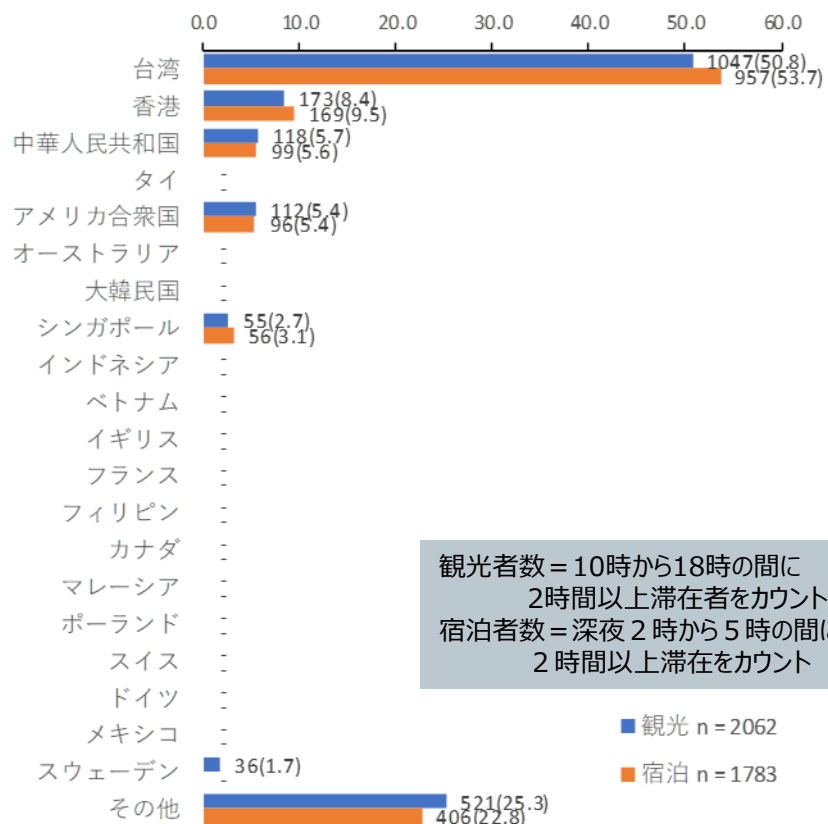
秋田県の冬のイベント横手かまくら（国籍別）



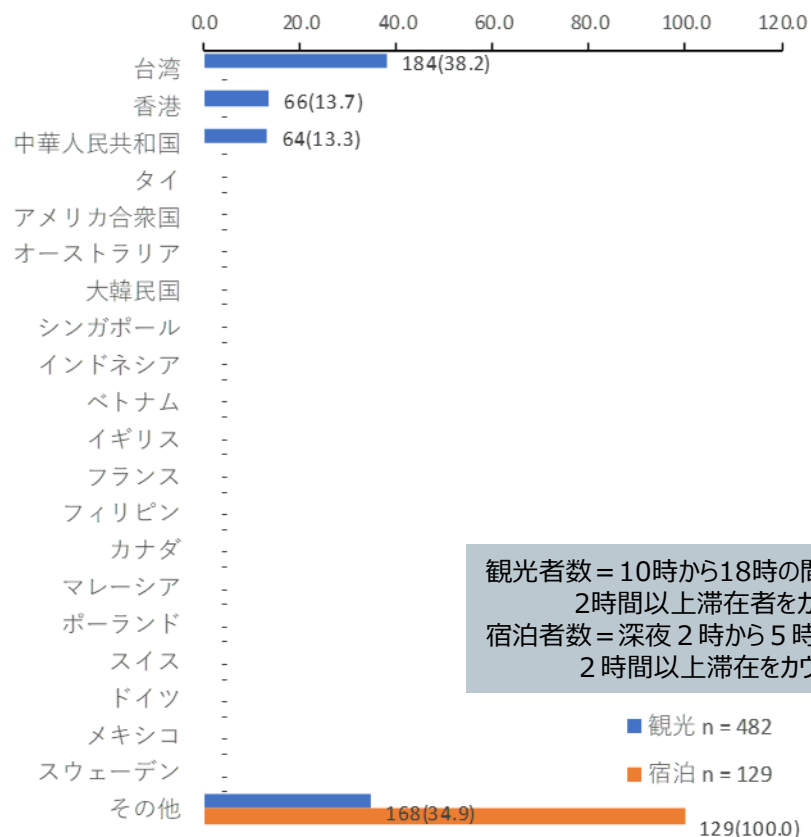
# イベント別 <山形> 天童桜まつり

- 台湾のウエイトが半数以上となっている。（多国籍化を図りたい）

山形県の春のイベント天童桜まつり（国籍別）



山形県の冬のイベント上杉雪灯籠まつり（国籍別）

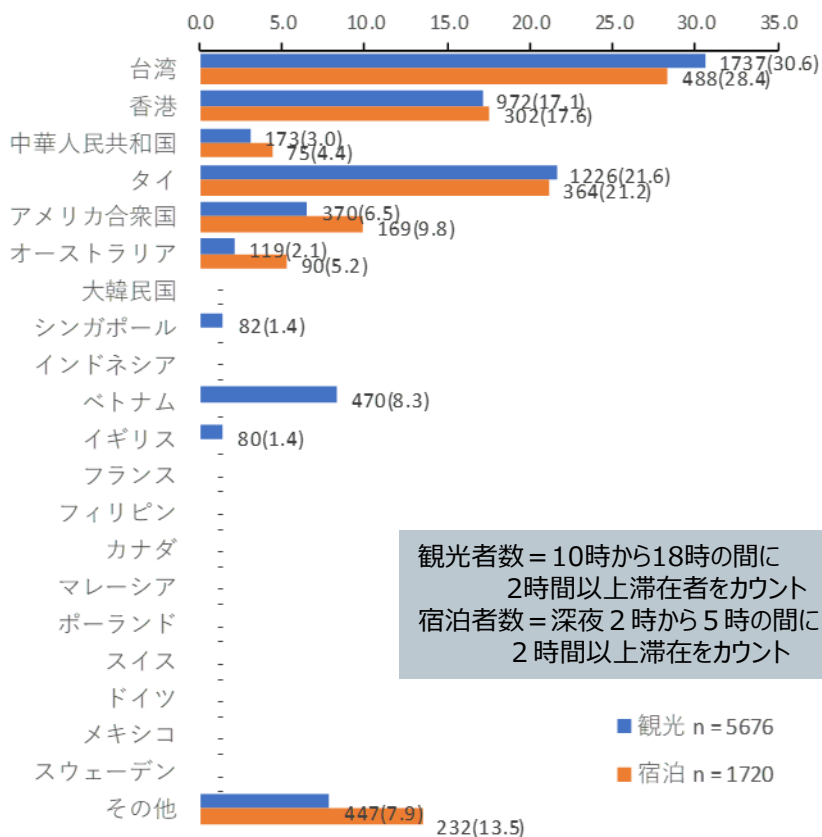




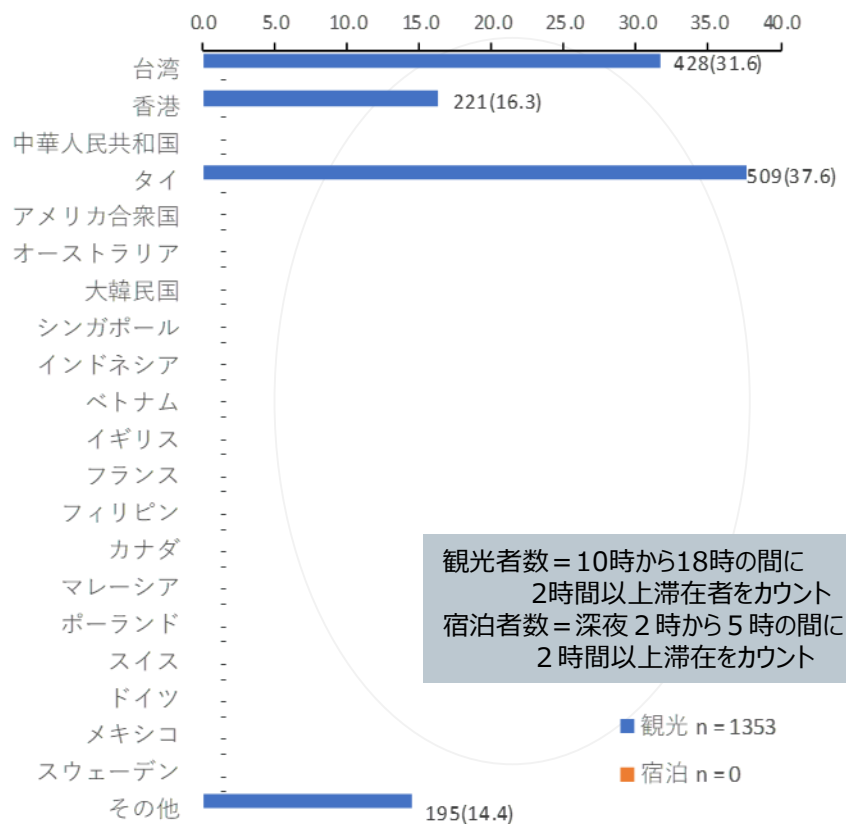
# イベント別 <福島> 鶴ヶ城さくらまつり

- ・ 宿泊者数2位はタイ。香港、米国、豪州も高い。

福島県の春のイベント鶴ヶ城さくらまつり（国籍別）



福島県の冬のイベント大内宿雪まつり（国籍別）

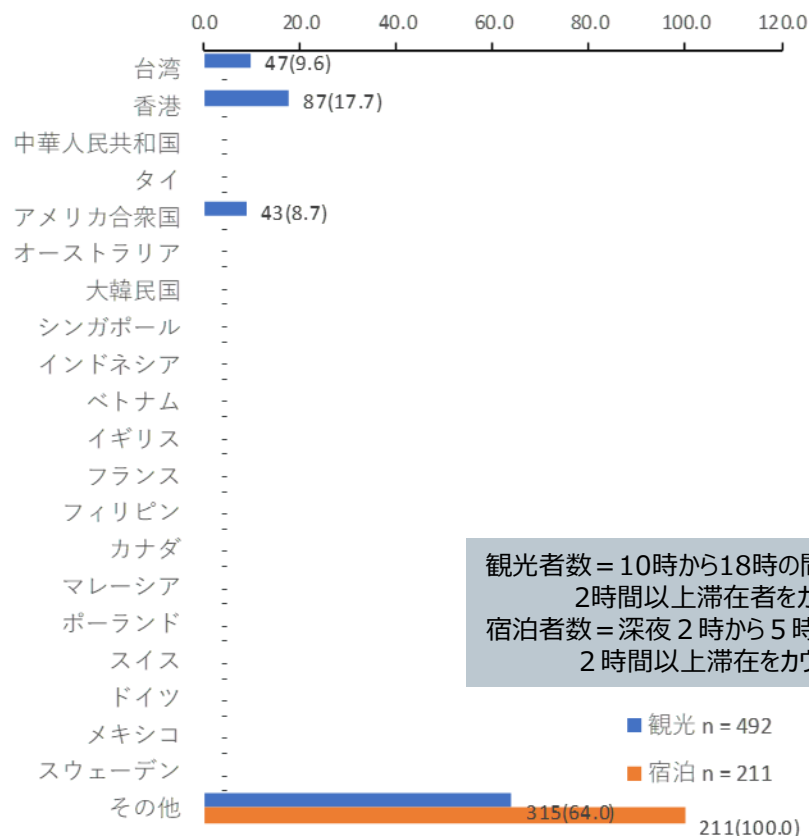
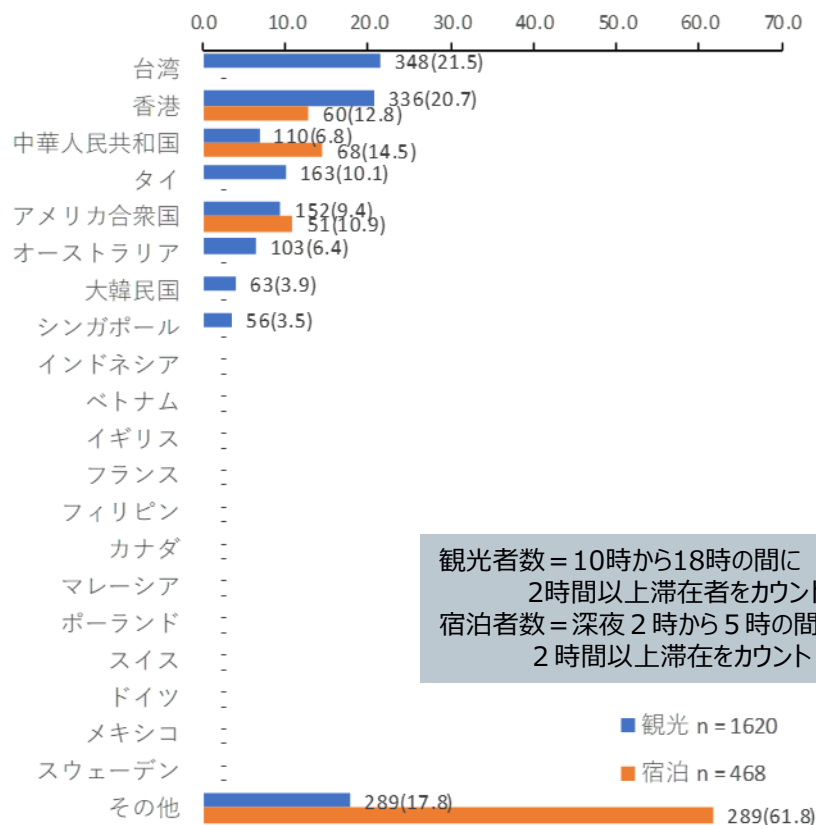


# イベント別 <新潟> 高田城百万人観桜会

- ・ 宿が少ない地域であり、他イベントに比べ宿泊者数が低かった。

新潟県の春のイベント高田城百万人観桜会（国籍別）

新潟県の冬のイベント十日町雪まつり（国籍別）



## ＜ 2. 動態調査・モバイル空間統計による・・・夏のイベント分析＞

---

## (0)考察・インサイト

- 1) **今夏・8月の東北の12イベント計の前年同期比は宿泊客数で121% 日帰り客数で118%と各々2桁の増加**となった。
- 2) その中で、**台湾の日帰り客と宿泊客の国籍別シェアが30%を越えた**。特に宿泊客数が大きく増加し、**宿泊客数が日帰り客数を上回った**。台湾の夏のイベントへの**関心・関与が高まり、しっかり泊まって観光したい**といったニーズが高まったと見る。また**前もって宿泊予約するスキルも上がった**と見る。今後は、**関与の高まりから参加や体験のニーズが高まっていくので準備していく必要がある**。
- 3) **香港も大きく伸ばした、特に宿泊客数(国籍別シェア)が増加したので、香港に準じると想定しておく必要がある**
- 4) **米国は、日帰り客及び宿泊客、それぞれ2倍近い伸びを示した。定着のため経験者からのレビューを取得し、マーケティングしていく必要がある**
- 5) 夏のイベントは8月初旬に集中するため、前夜・後夜祭など期間を拡張していくか、外国人参加参加可能な別日程のイベントを造成していくことも検討していく必要がる  
**(航空会社と連携したホノルルマラソンイベントの拡張などの事例などが参考になる)**
- 6) **中国は減少した。注意。中国は本来、子供・親が楽しめる動的なコンテンツを重視しており、宿泊中や前後に動的コンテンツ含め強化できるか検討したい。**
- 7) **重要ポイントの、イベントを起点とした他県広域周遊の実態はP32からP38に詳しくコメントした**

( 1 ) どの国の旅行者が夏のイベント観光したか？ 宿泊したか？  
(今後ポテンシャルが期待できる国は)

---

# (1)8月の東北12イベント計の客数は？ 前年比は？

**8月の12イベント計の客数は昨年の約2万人に対し今期は約2万45百人へ  
前年比は・・宿泊客数で121%増加、日帰り客数で118%増加した**

外国人客数 (2時間以上当地 滞在者をカウント)	昨夏	今夏	前年比	前年差
	2018年	2019年		
<b>観光客数計</b>	<b>20,600</b>	<b>24,484</b>	<b>119%</b>	<b>3,884</b>
<b>宿泊客数</b>	<b>6,843</b>	<b>8,308</b>	<b>121%</b>	<b>1,465</b>
<b>日帰り客数</b>	<b>13,757</b>	<b>16,176</b>	<b>118%</b>	<b>2,419</b>

仙台七夕、青森ねぶた、秋田竿燈、盛岡さんさ踊り、山形花笠、福島わらじ、八戸三社、弘前ねぶた、五所川原立佞武多、大曲全国花火競技会、相馬野馬追、郡山うねめの12まつり（イベント）の合計による

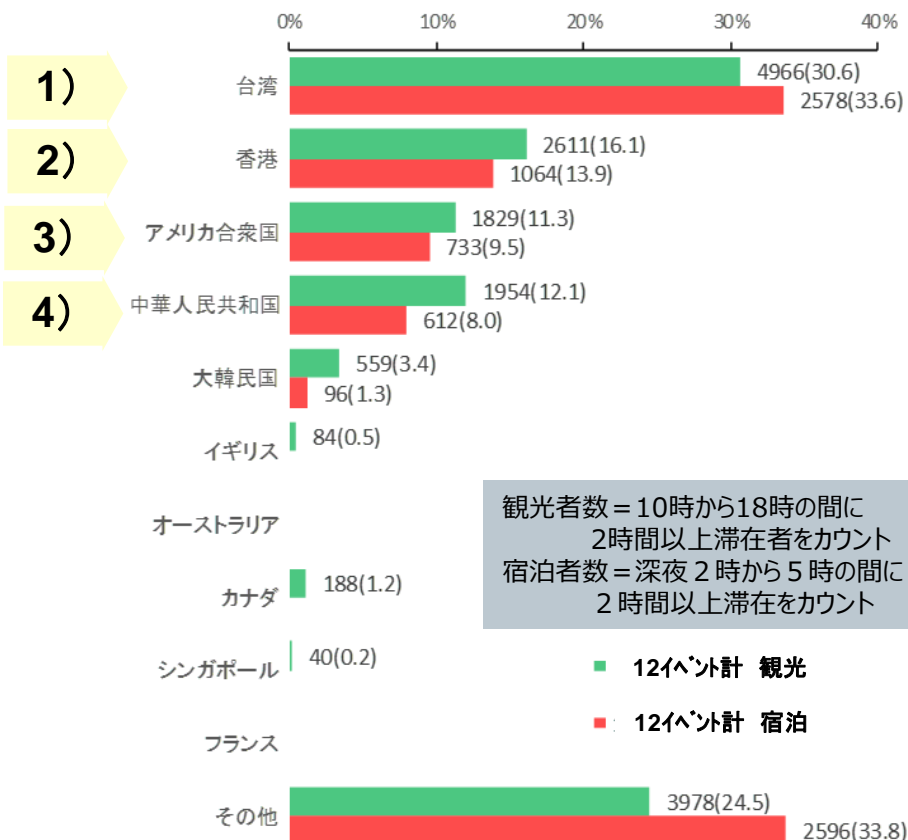
上記数値は、「モバイル空間統計」に基づく。その特性により、各イベント市区町村に2時間以上滞在しなかった訪日外国人や日本定住の外国人は含まれない。

# （１）どの国の旅行者が宿泊・観光した？ 国別シェアは？ 前年比較は？

- 1) 台湾の日帰りと宿泊の国籍別シェアが30%を越えた。特に宿泊客数が大きく増加、宿泊客数が日帰り客数を上回った。
- 2) 香港も大きく伸ばした、特に宿泊客数(国籍別シェア)が増加した
- 3) 米国は日帰り及び宿泊でそれぞれ2倍近い伸びを示した
- 4) 中国は減少した

## 今夏の12イベント計(国籍別)

### 2019年夏のイベント(6県計)(国籍別)

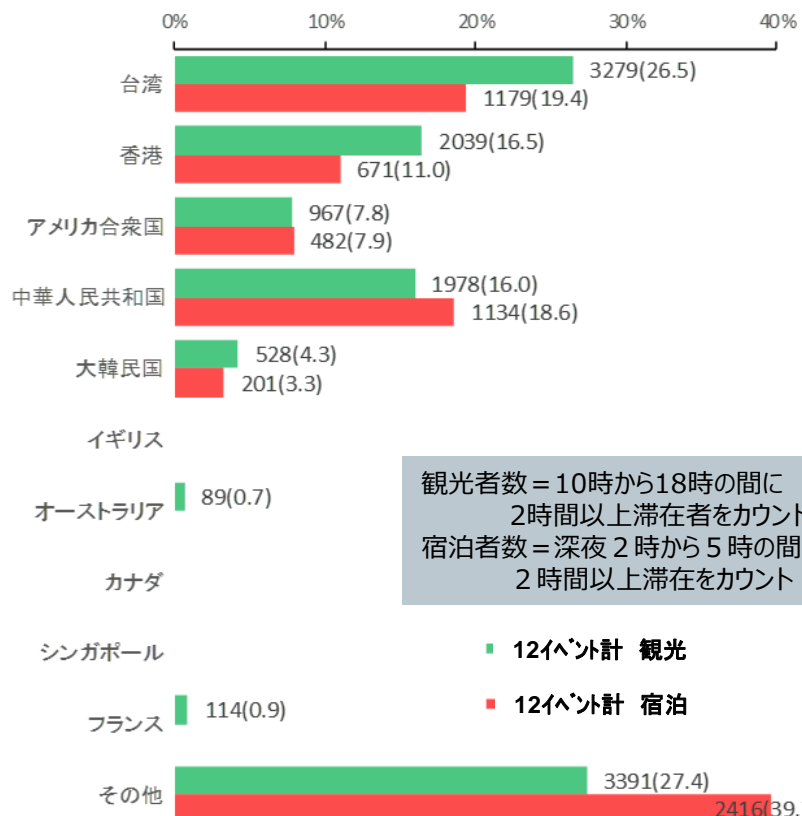


観光者数 = 10時から18時の間に  
2時間以上滞在者をカウント  
宿泊者数 = 深夜2時から5時の間に  
2時間以上滞在者をカウント

■ 12イベント計 観光  
■ 12イベント計 宿泊

## 昨夏の12イベント計(国籍別)

### 2018年夏のイベント(6県計)(国籍別)



観光者数 = 10時から18時の間に  
2時間以上滞在者をカウント  
宿泊者数 = 深夜2時から5時の間に  
2時間以上滞在者をカウント

■ 12イベント計 観光  
■ 12イベント計 宿泊

仙台七夕、青森ねぶた、秋田竿燈、盛岡さんさ踊り、山形花笠、福島わらじ、八戸三社、弘前ねぶた、五所川原立佞武多、大曲全国花火競技会、相馬野馬追、郡山うねめの12まつり（イベント）の合計による

(2) 夏のイベント観光時、東北他県への同時広域周遊率は？

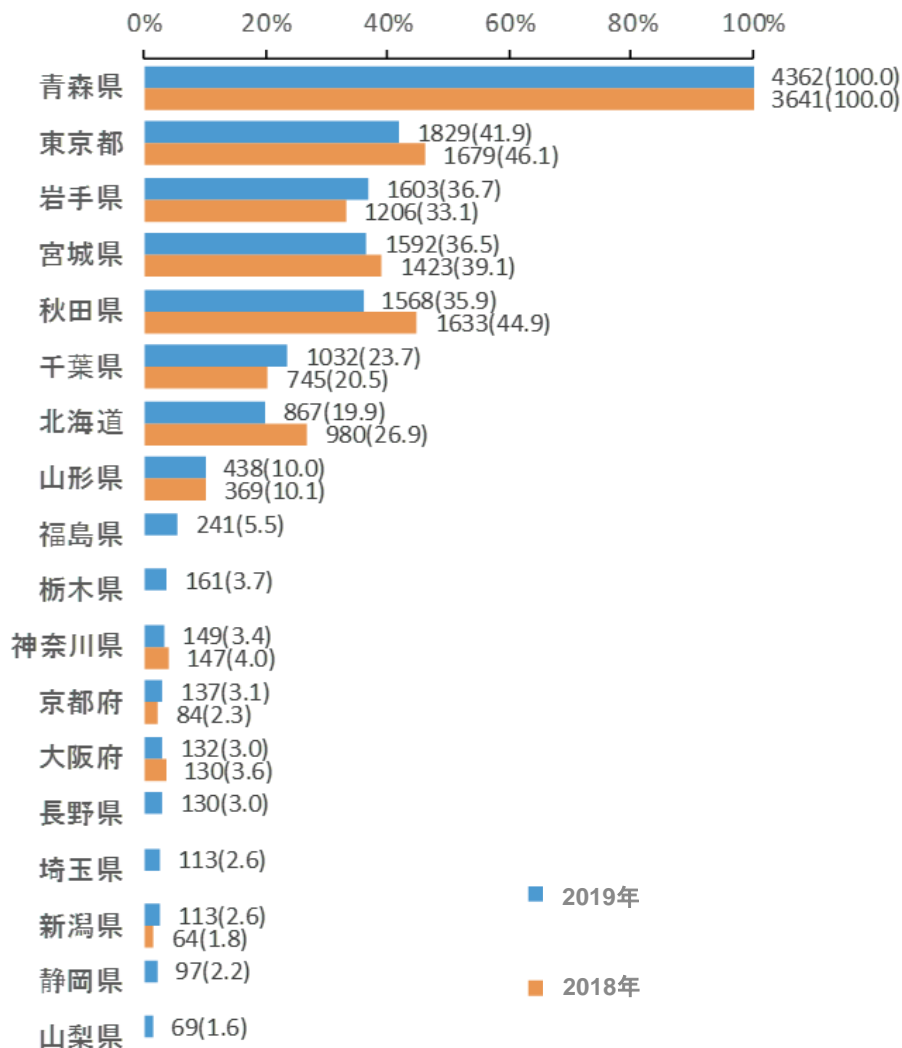
---



## (2) <青森県> 青森ねぶた祭 観光前後の他県広域周遊率

1. 東京との前後周遊率は42%で1位(微減)
2. 岩手との広域周遊が増加(33→37%)
3. 山形、福島との広域周遊あり
4. 元々周遊率の高い秋田、宮城のうち秋田が減少
5. 北海道との周遊も若干減少
6. 大阪に加え、京都、静岡、山梨、長野、新潟  
など広域観光の来訪者が増えている（誘客に効果あり）

<青森県>青森ねぶた祭(周遊県別)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間イベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

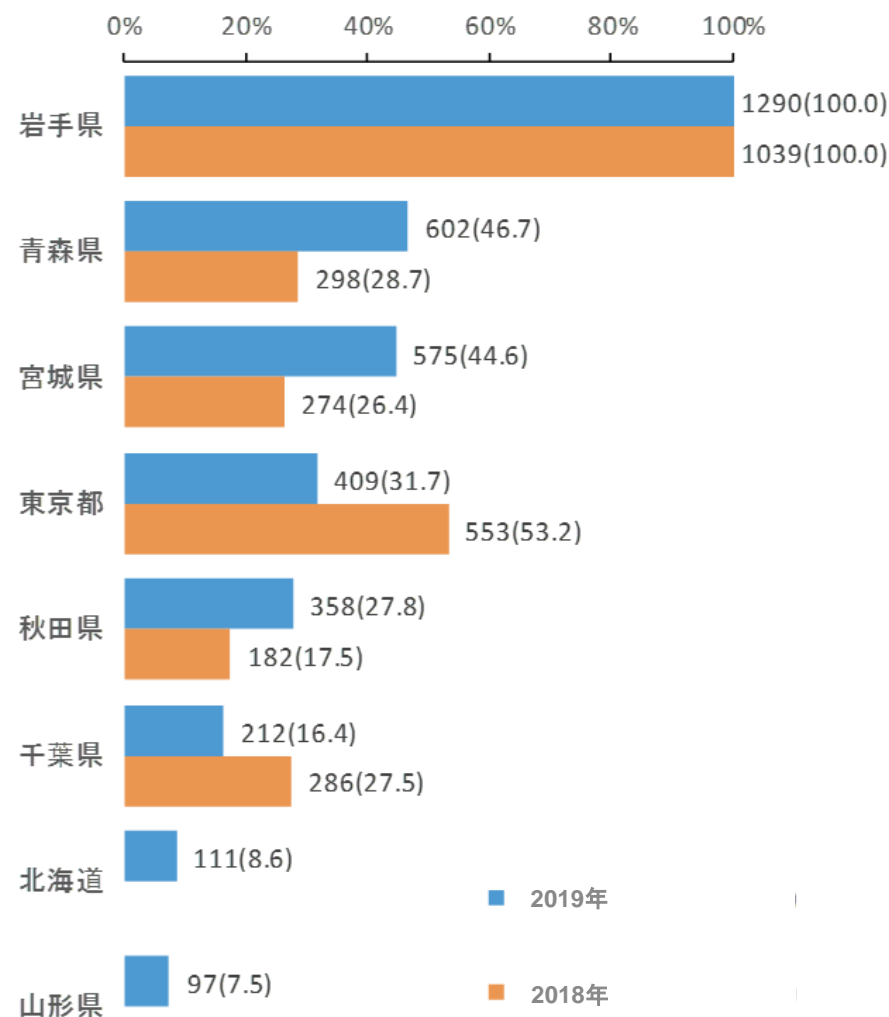
## (2) <岩手県> 盛岡さんさ踊り 観光前後の他県広域周遊率

1. 東京との周遊率は(昨年53%から)32%で減少

2. 青森(29→47%)宮城(26→45%)

秋田(18→28%)との広域周遊が大きく増加

<岩手県> 盛岡さんさ踊り(周遊県別)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

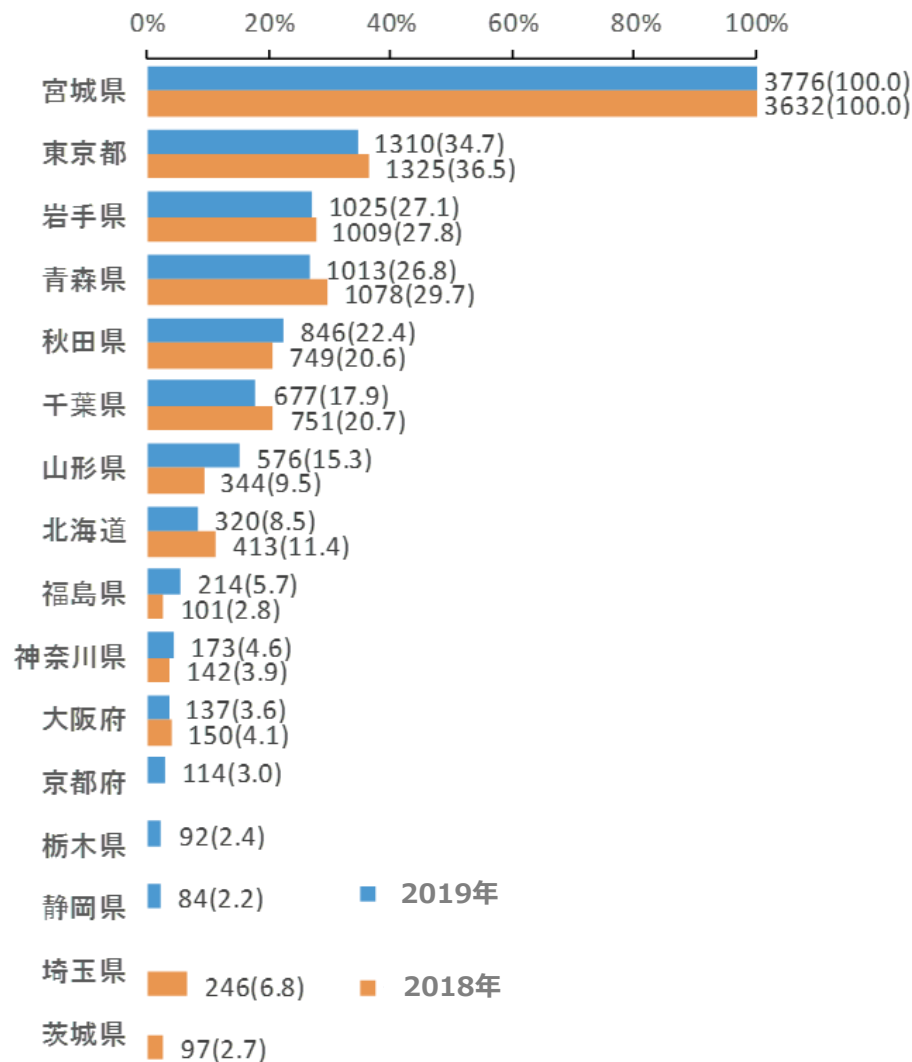
## (2) <宮城県> 仙台七夕まつり 観光前後の他県広域周遊率

仙台市・青葉区で解析

1. 東京との前後周遊率は35%で1位(微減)
2. 秋田、山形、福島との広域周遊が増加
3. 元々高い青森、岩手のうち青森微減
4. 北海道との周遊は減少
5. 大阪に加え、京都、静岡など

他地域との流動にも注目しておく

### <宮城県>仙台七夕まつり (周遊県別)

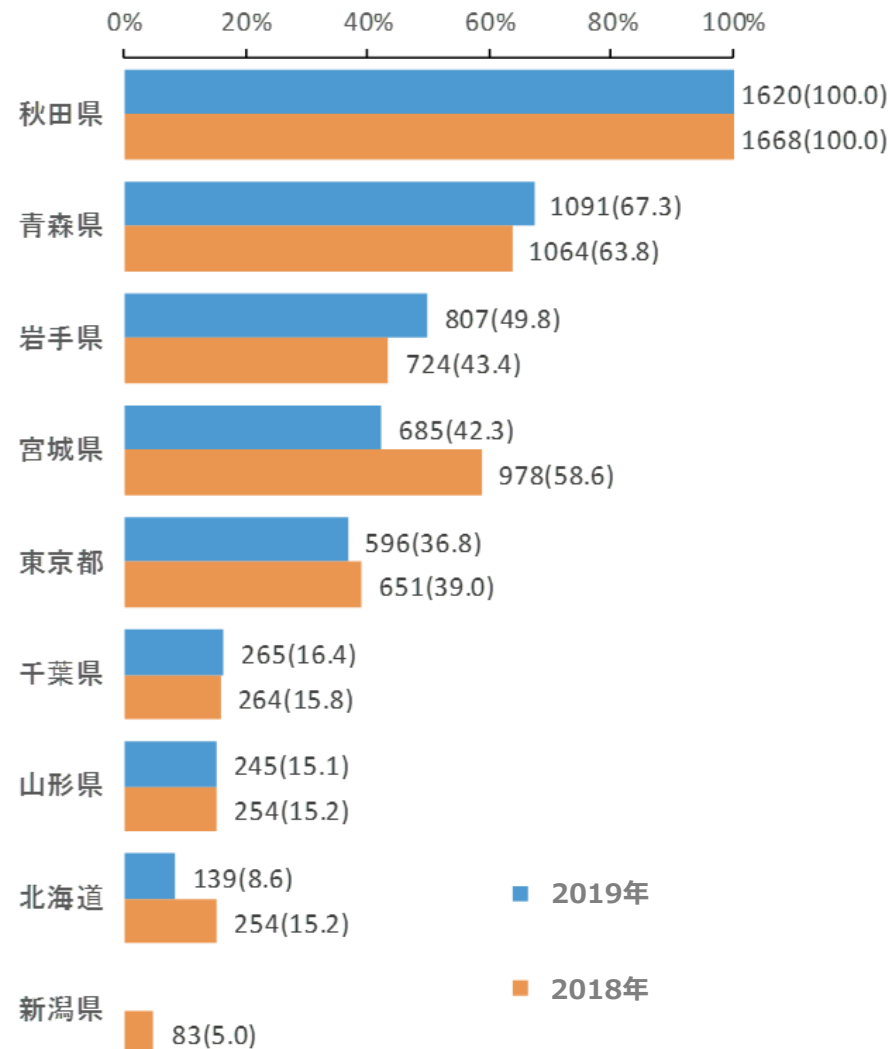


他県数値はイベント前・後両方から  
期間イベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

## (2) <秋田県> 竿燈まつり 観光前後の他県広域周遊率

1. 東京との周遊率は37%と3割強のレベルで微減
2. 青森(64→67%)岩手(43%→50%)との周遊が増加
3. 山形との周遊も同水準で推移
4. 宮城・北海道との周遊は減少

<秋田県> 竿燈まつり (周遊県別)

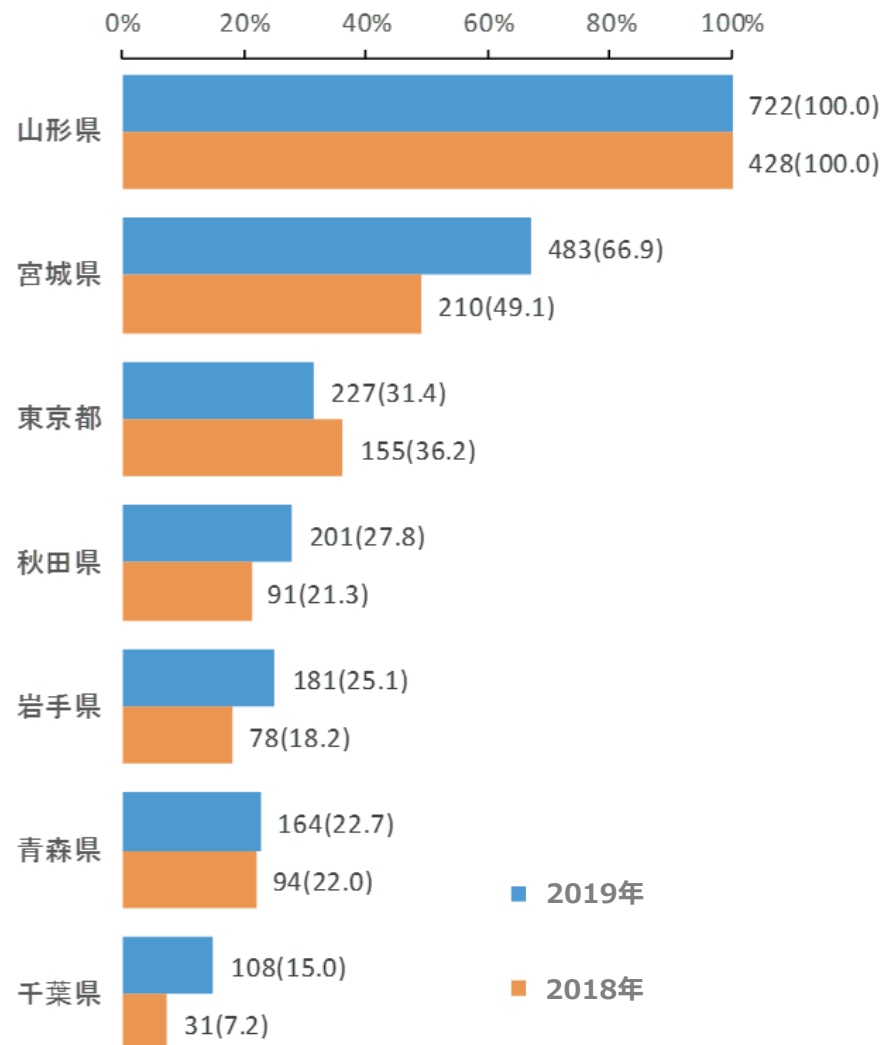


他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

## (2) <山形県> 山形花笠まつり 観光前後の他県広域周遊率

1. 東京との周遊率は31%  
(構成比は約5ポイント減)
  2. 宮城との広域周遊が大きく増加(49→67%)
  3. 秋田、岩手、青森との周遊も旅行客数倍増
- の傾向

<山形県>山形花笠まつり (周遊県別)

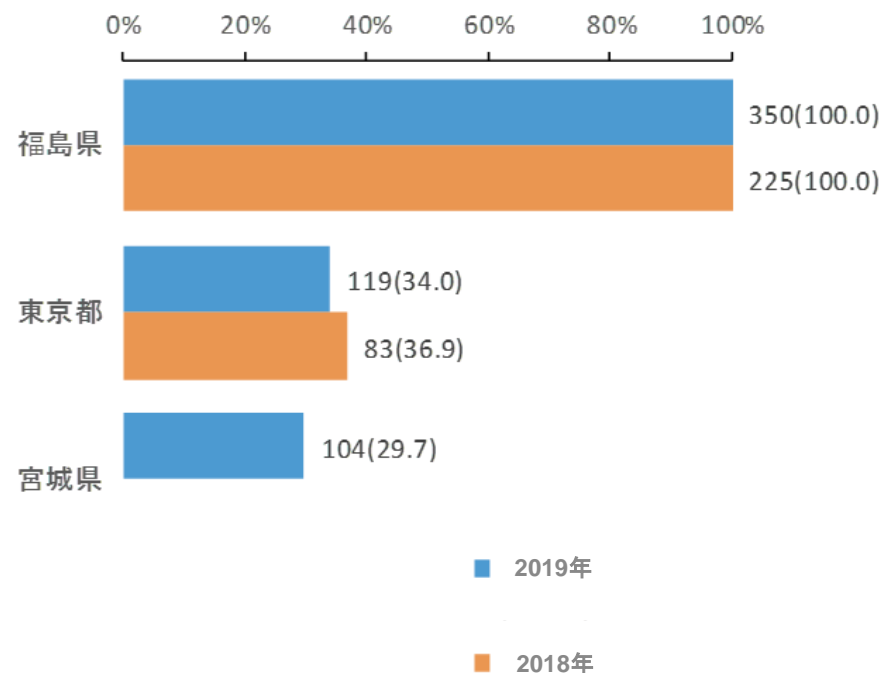


他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

## (2) <福島県> 福島わらじまつり 観光前後の他県広域周遊率

1. 東京との前後周遊率は34%レベル  
(周遊者数はやや増加)
2. 宮城との広域周遊、今期発生  
  
30%に (東京並みの周遊)

<福島県> 福島わらじまつり(周遊県別)



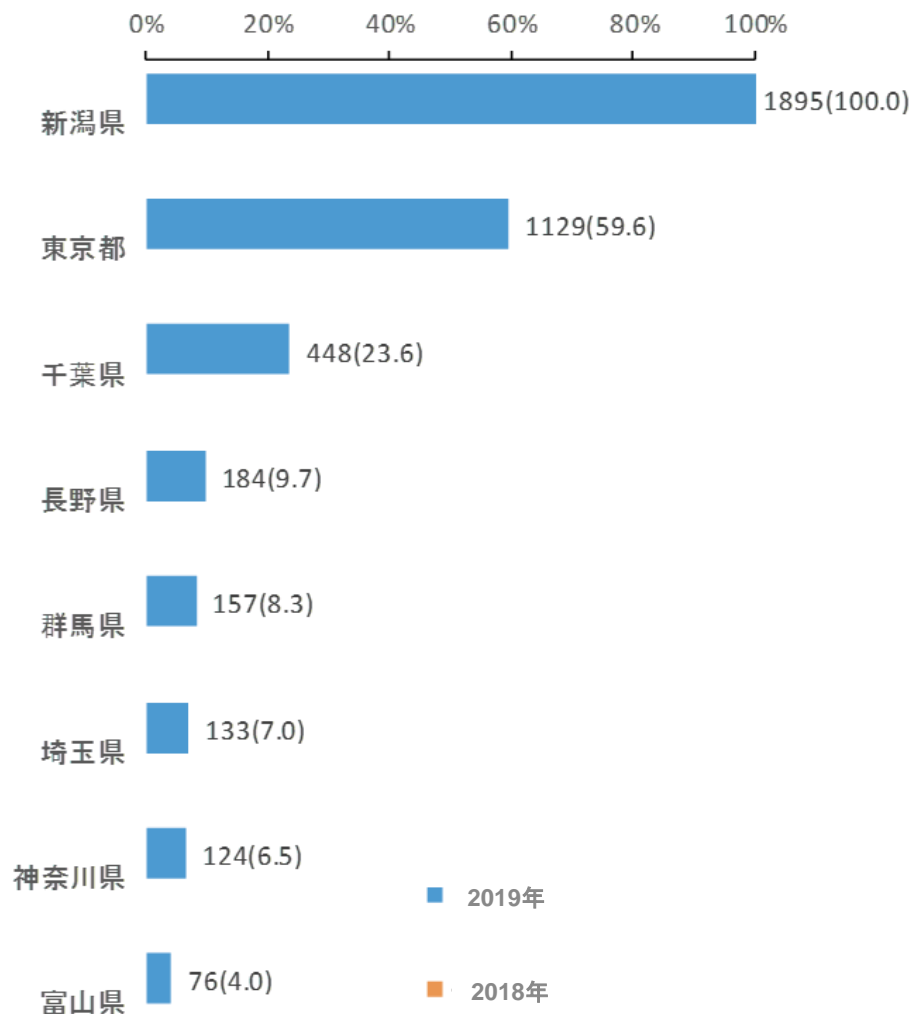
他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

## (2) <新潟県> 長岡まつり大花火大会 観光前後の他県広域周遊率 (新規測定)

1. 東京との前後周遊率は60%で1位
2. 東北との前後周遊は測的できなかった

※新規測定イベントのため、前年数値なし

<新潟県> 長岡まつり大花火大会(周遊県別)



他県数値はイベント前・後両方から  
期間はイベントと同期間のみ  
数値は旅行客数(2時間以上滞在者数)

### (3) その他資料

---

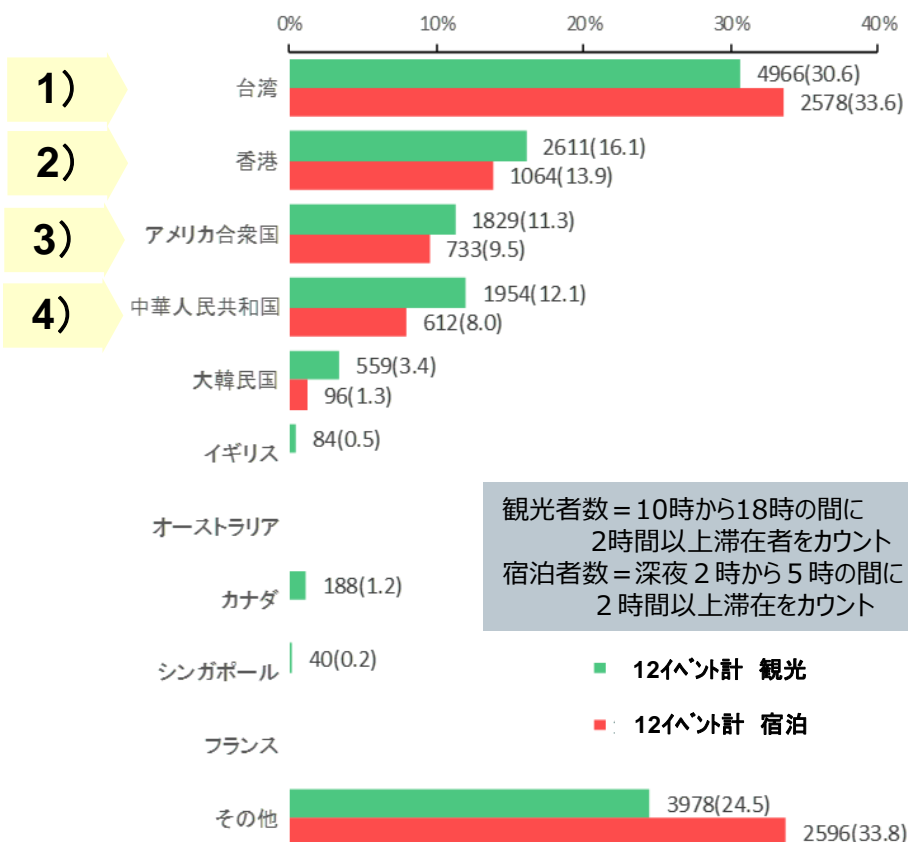


# (再掲載) どの国の旅行者が宿泊・観光した？ 国別シェアは？ 前年比較は？

- 1) 台湾の日帰りと宿泊の国籍別シェアが30%を越えた。特に宿泊客数が大きく増加、宿泊客数が日帰り客数を上回った。
- 2) 香港も大きく伸ばした、特に宿泊客数(国籍別シェア)が増加した
- 3) 米国は日帰り及び宿泊でそれぞれ2倍近い伸びを示した
- 4) 中国は減少した

## 今夏の12イベント計(国籍別)

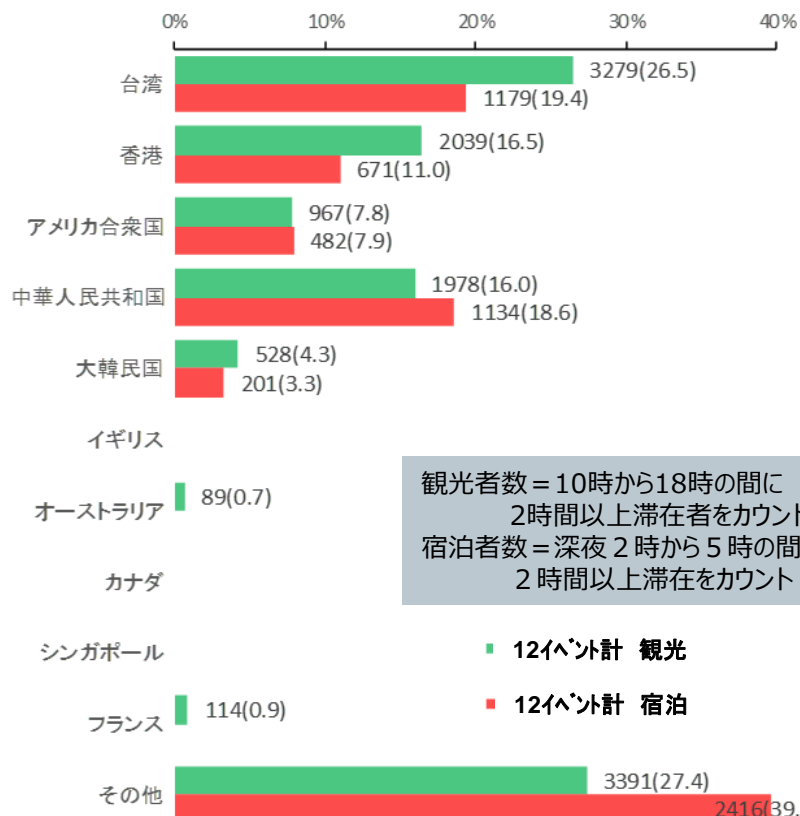
### 2019年夏のイベント(6県計)(国籍別)



観光者数 = 10時から18時の間に  
2時間以上滞在者をカウント  
宿泊者数 = 深夜2時から5時の間に  
2時間以上滞在者をカウント

## 昨夏の12イベント計(国籍別)

### 2018年夏のイベント(6県計)(国籍別)



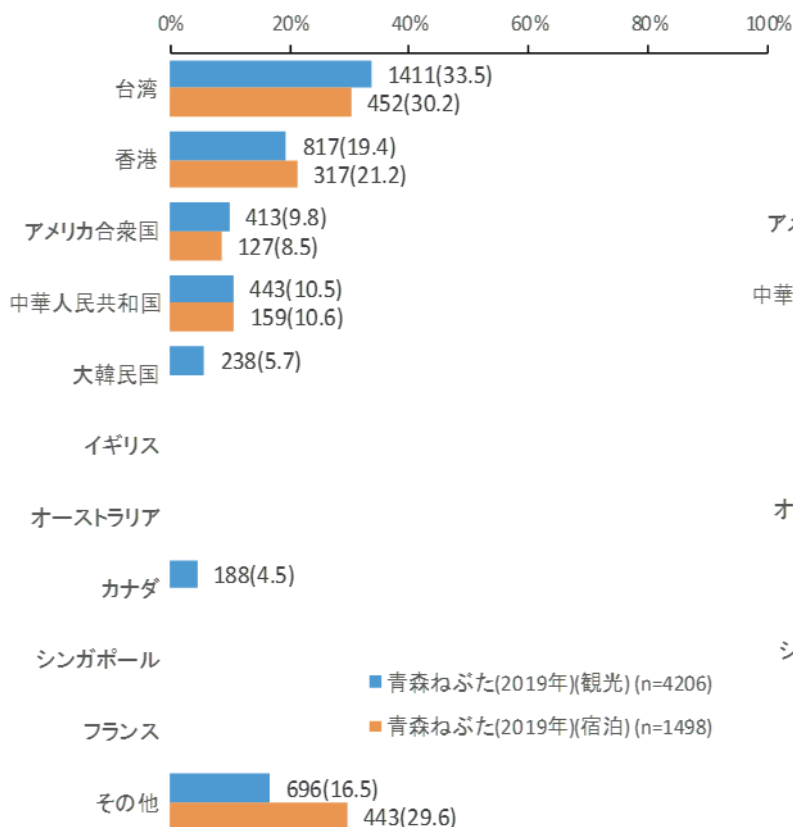
観光者数 = 10時から18時の間に  
2時間以上滞在者をカウント  
宿泊者数 = 深夜2時から5時の間に  
2時間以上滞在者をカウント

仙台七夕、青森ねぶた、秋田竿燈、盛岡さんさ踊り、山形花笠、福島わらじ、八戸三社、弘前ねぶた、五所川原立佞武多、大曲全国花火競技会、相馬野馬追、郡山うねめの12まつり(イベント)の合計による

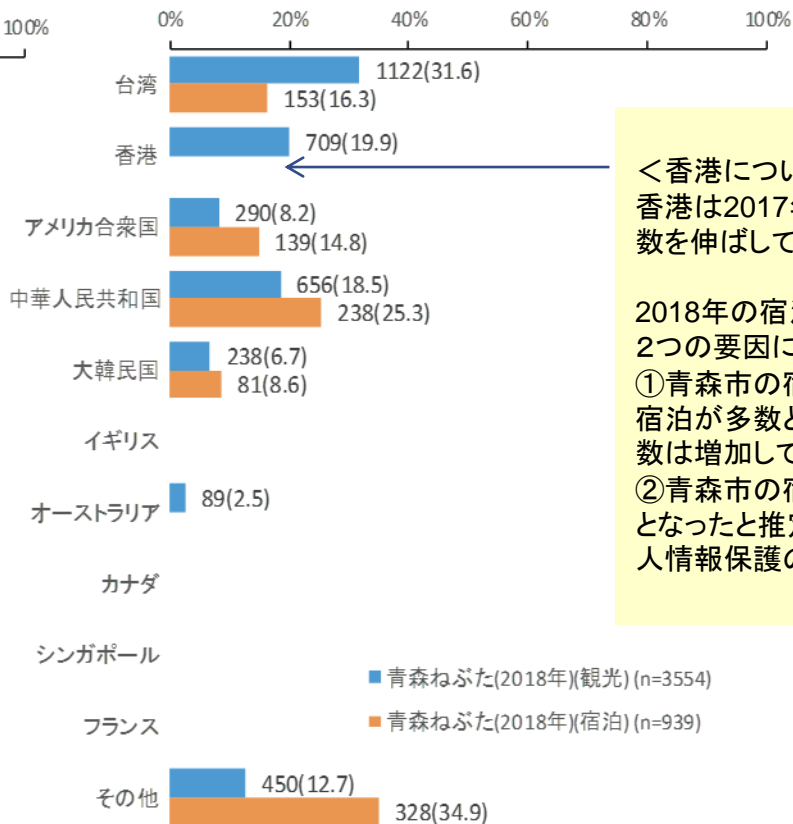
### (3) <青森県> 青森ねぶた祭 国籍別比較

- 台湾と香港の国籍別宿泊シェアがそれぞれ30%超え21%超えと増加
- 中国は減少

青森ねぶた祭（2019年）（観光・宿泊）（国籍別）



青森ねぶた祭（2018年）（観光・宿泊）（国籍別）



#### <香港についての追加コメント>

香港は2017年から3年連続で韓国客数を伸ばしている(2017年は545人)

2018年の宿泊客数がblankなのは2つの要因による

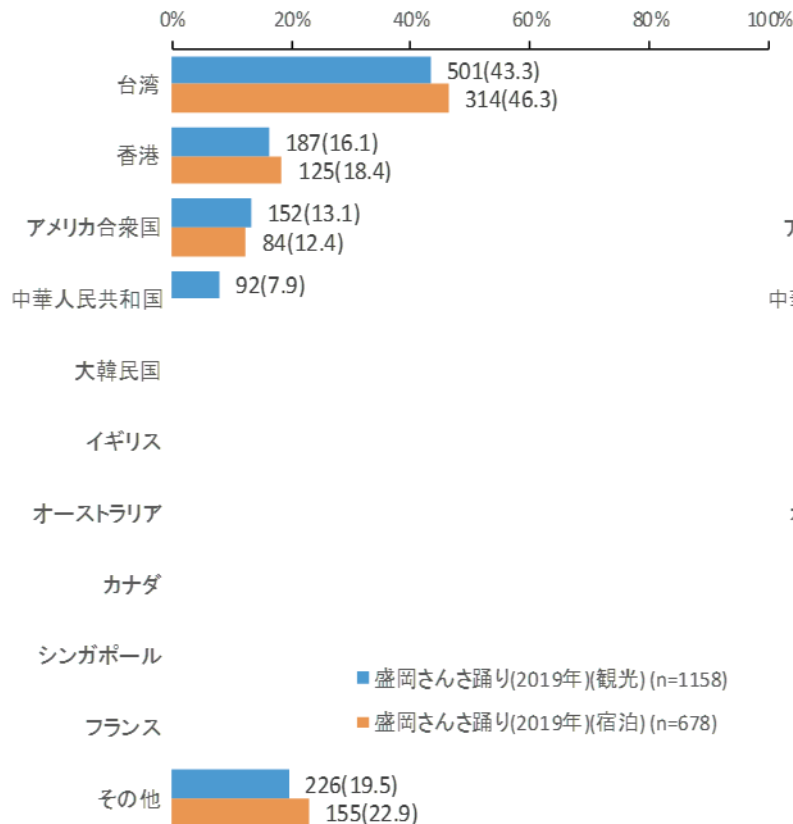
①青森市の宿泊施設が満室で弘前市宿泊が多数となった(弘前市の宿泊客数は増加している)

②青森市の宿泊施設満室のため少数となったと推定される(少数の場合個人情報保護のため開示しない)

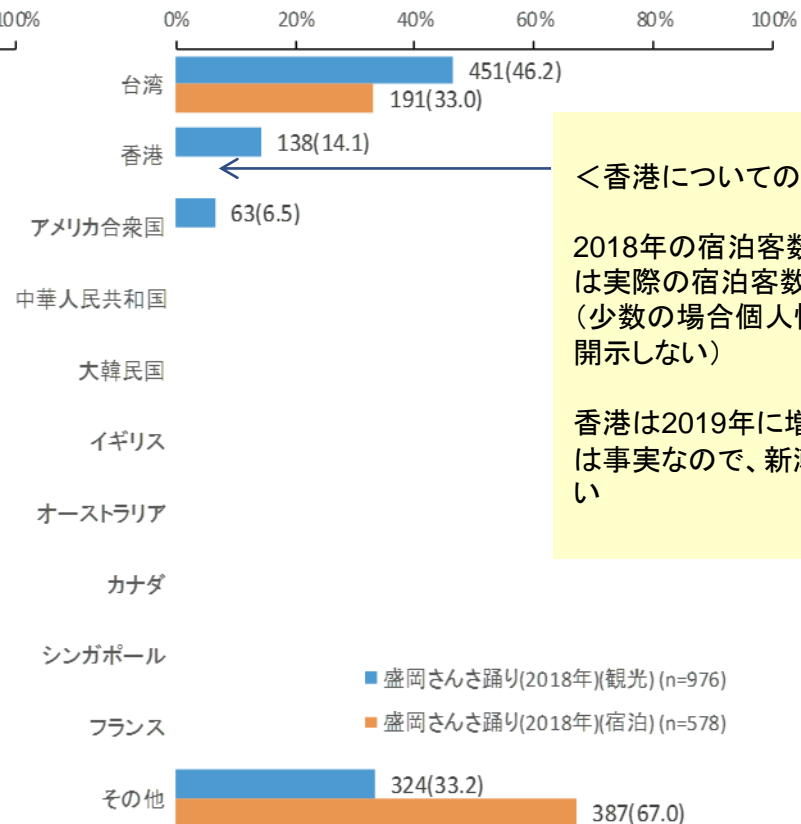
### (3) <岩手県> 盛岡さんさ踊り 国籍別比較

- 台湾と香港の国籍別宿泊シェアがそれぞれ46%と18%と増加
- 米国、中国と新規増の傾向

盛岡さんさ踊り(2019年)(観光・宿泊)(国籍別)



盛岡さんさ踊り(2018年)(観光・宿泊)(国籍別)



<香港についての追加コメント>

2018年の宿泊客数がblankなのは実際の宿泊客数が少数のため(少数の場合個人情報保護のため開示しない)

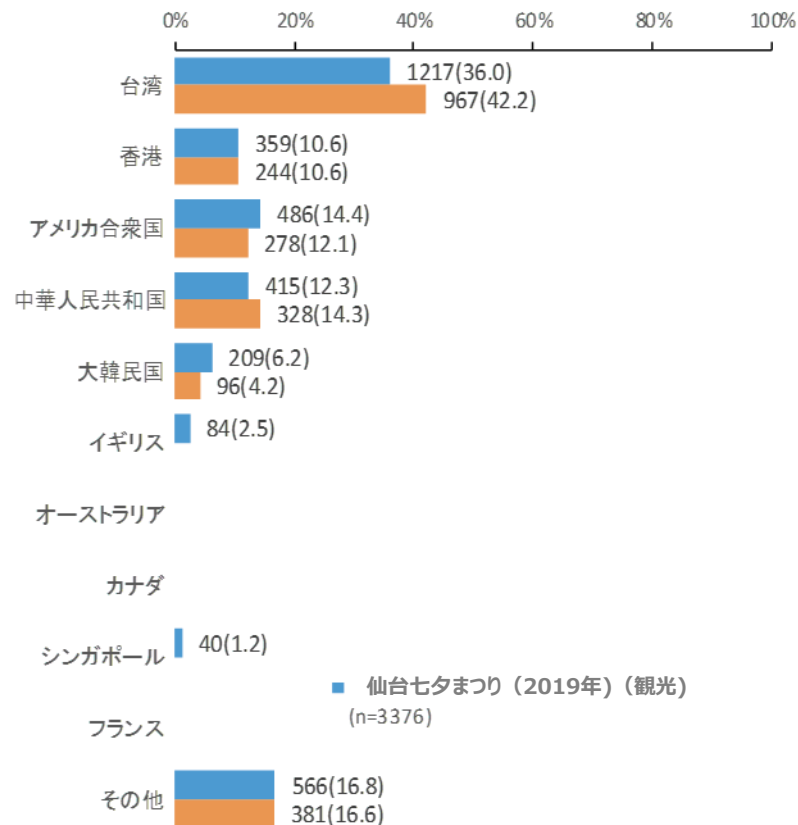
香港は2019年に増加していることは事実なので、新潮流に注目したい

### (3) <宮城県> 仙台七夕まつり 国籍別比較

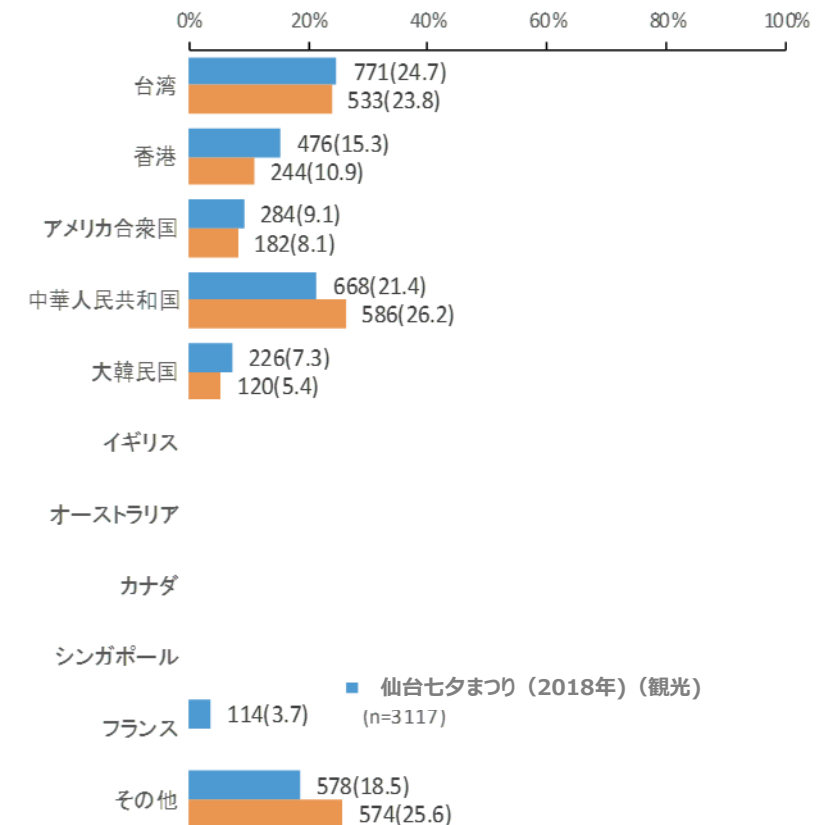
仙台市・青葉区で解析

- 台湾の国籍別の観光客数シェア36%、宿泊客数シェア42%まで増加
- 米国の国籍別の観光客数シェア14%、宿泊客数シェア12%まで増加

仙台七夕まつり（2019年）（観光・宿泊）（国籍別）



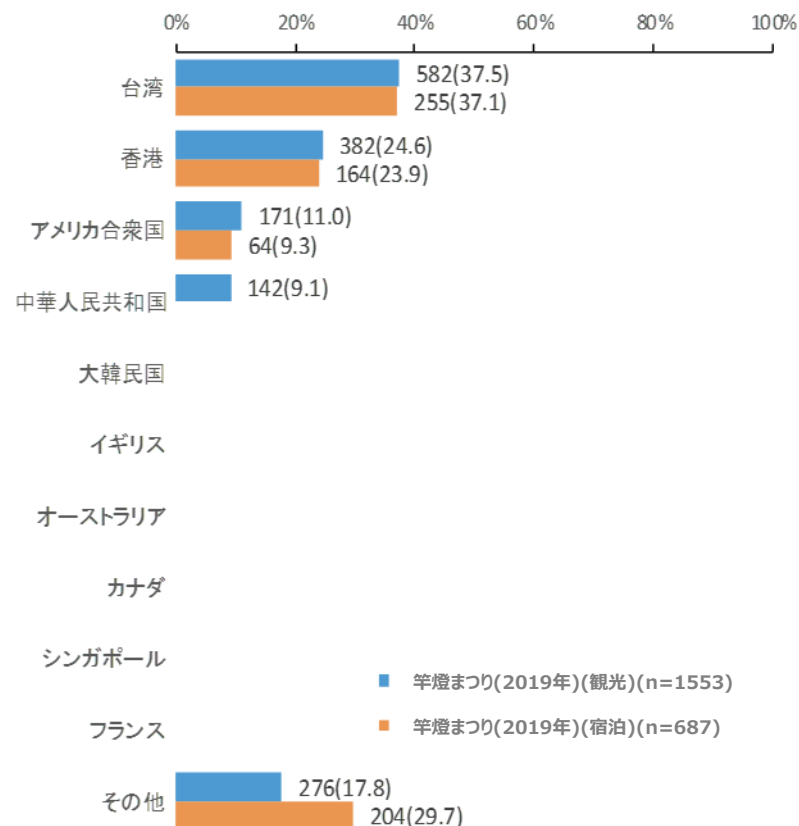
仙台七夕まつり（2018年）（観光・宿泊）（国籍別）



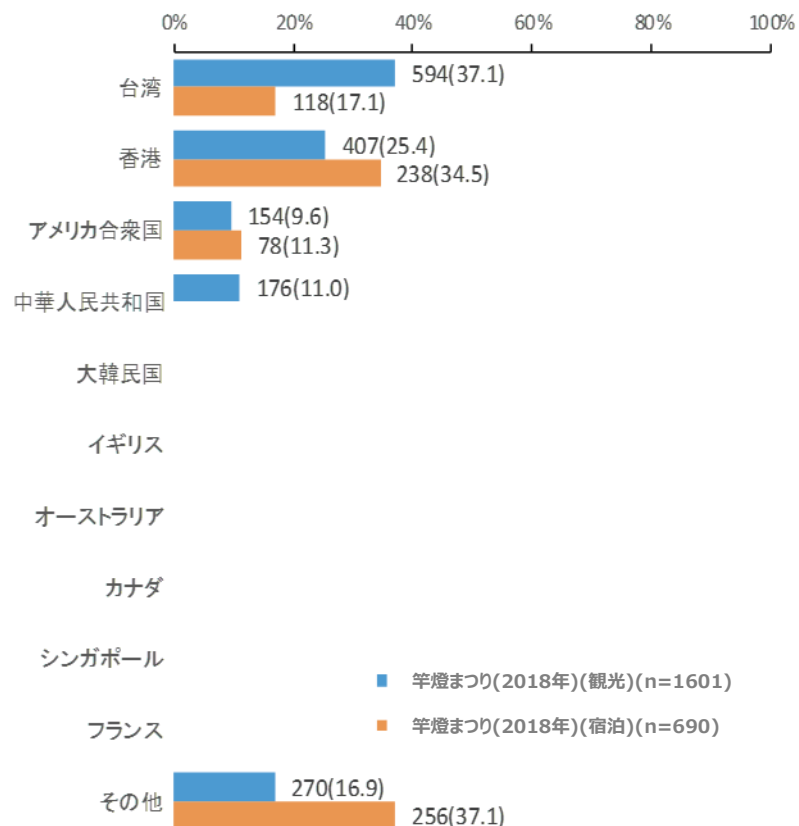
### (3) <秋田県> 竿燈まつり 国籍別比較

- 台湾の国籍別宿泊シェアが37%と増加（その影響か香港の宿泊シェア減少）

竿燈まつり（2019年）（観光・宿泊）（国籍別）



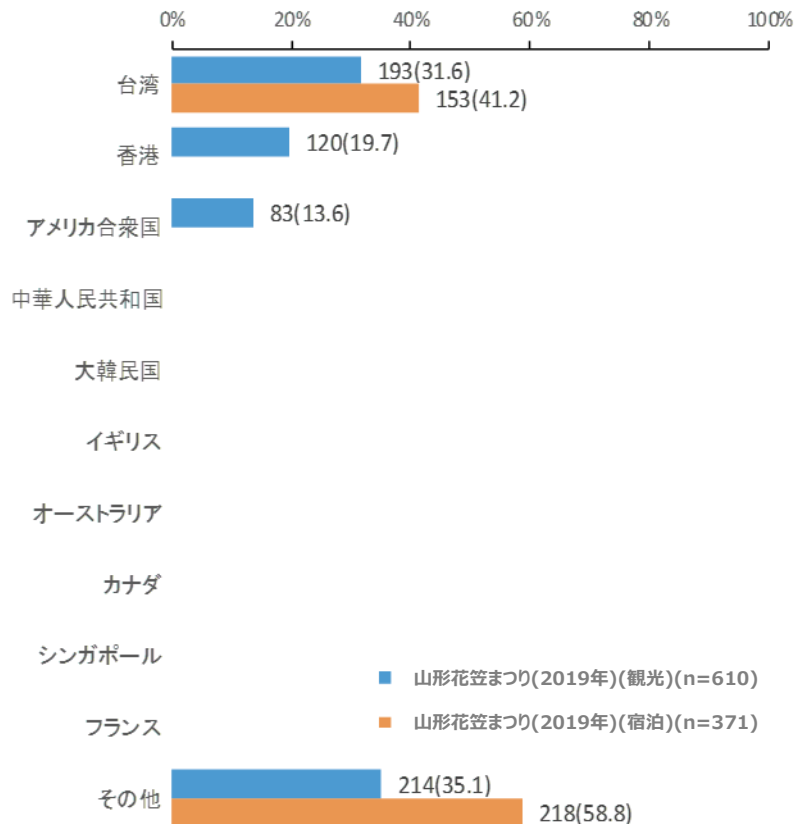
竿燈まつり（2018年）（観光・宿泊）（国籍別）



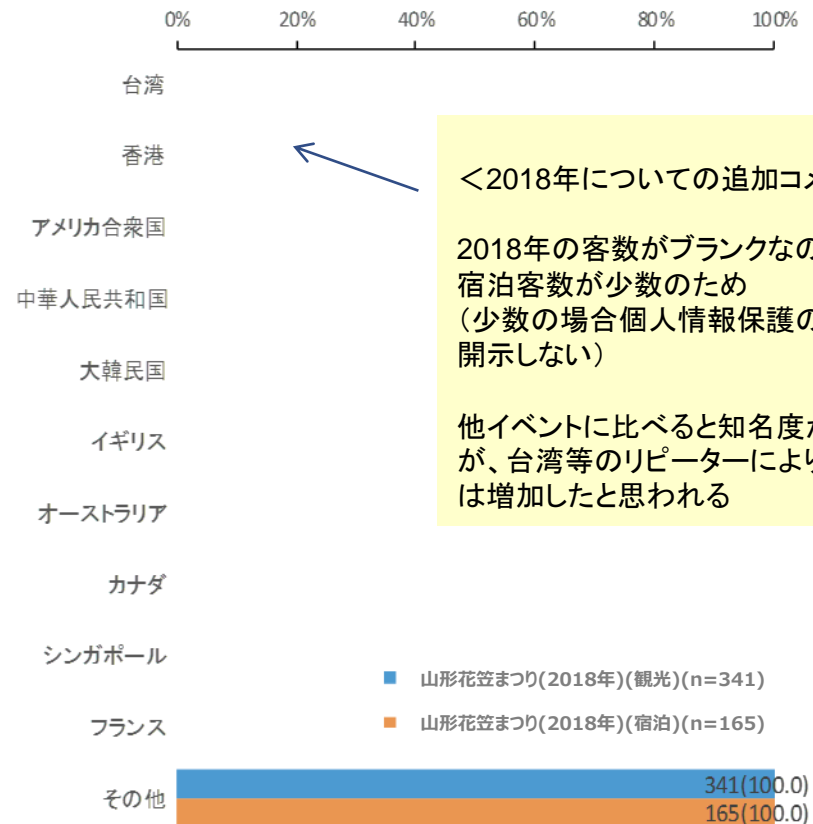
### (3) <山形県> 山形花笠まつり 国籍別比較

- 台湾からの新潮流、宿泊率も高い
- 香港、米国も今期確認
- 他イベントに比べ知名度は低かったが、台湾等のリピーターにより増加したものと推定される

山形花笠まつり (2019年) (観光・宿泊)(国籍別)



山形花笠まつり (2018年) (観光・宿泊)(国籍別)



#### <2018年についての追加コメント>

2018年の客数がブランクなのは実際の宿泊客数が少数のため  
(少数の場合個人情報保護のため開示しない)

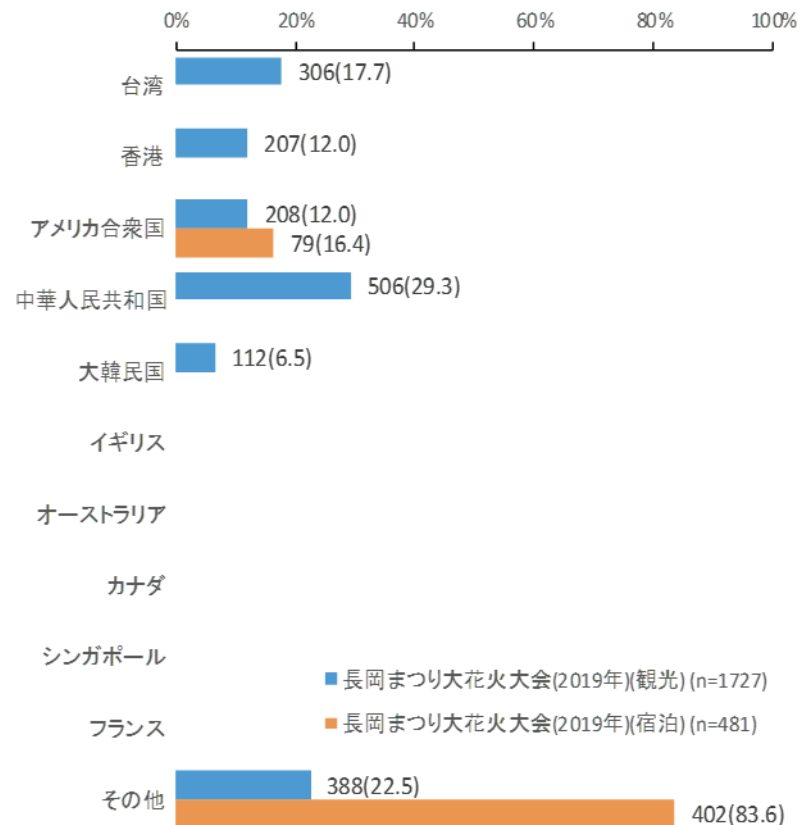
他イベントに比べると知名度が低かったが、台湾等のリピーターにより2019年は増加したと思われる

### (3) <新潟県> 長岡まつり大花火大会

- 中国が1位、次いで台湾、香港と続く

※新規測定イベントのため、前年数値なし

長岡まつり大花火大会(2019年)(観光・宿泊)(国籍別)



### ＜ 3. 動態調査・モバイル空間統計による・・新幹線と高速道路による東北流入の変化分析＞



## (0)考察・インサイト

### <2019年(1-11月)の前年同期比の評価>

- ・東京圏からの新幹線による流入は前期同期比111%で、前期比増に最も貢献した
  - ・東京圏からの同・高速道の流入も前期同期比110%
  - ・新函館からの新幹線流入の前期同期比は93%
- (上記3方法による東北流入の合計前期同期比は111%と2桁成長だった)

### <県別コメント>

**青森県**の前年同期比は**120%** (全体比較 + 9ポイント貢献)

⇒東京圏からの新幹線と高速道路流入が貢献した。新函館からの流入は再度強化したい

**岩手県**の前年同期比は**126%** (全体比較 + 15ポイント貢献)

⇒高速道路からの流入が前期比141%で最も貢献 (新幹線も前年比112%で2桁増に貢献している)

**秋田県**の前年同期比は**119%** (全体比較 + 8ポイント貢献)

⇒高速道路からの流入が前年比123%で特に貢献 (新幹線も前年比117%で2桁増に貢献している)

**宮城県**の前年同期比は**99%** (全体比較 ▲12ポイント)

⇒新函館と東京圏の新幹線流入は増加した (高速道の流入は前期比89%で減少)

**山形県**の前年同期比は**118%** (全体比較 + 7ポイント)

⇒高速道路からの流入が前年比133%で最も貢献 (新幹線も前年比116%で2桁増に貢献している)

**福島県**の前年同期比は**105%** (全体比較 ▲6ポイント)

⇒東京圏からの新幹線前期比105% 高速道路の前期比も105%

(直近2カ月の前期比が82%と減少している)

# (1)＜6県計＞1-11月 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

＜1-11月前年比＞東京圏・新幹線流入2桁増の111% 同・高速道流入も110% 新函館・新幹線流入は減少の93% 合計は2桁増111%

＜1-11月構成比＞東京圏・新幹線流入の構成比は63% 同・高速道流入は35% 同：新函館からの新幹線流入構成比は2%

＜県別コメント＞青森は前年比120%・東京圏からの新幹線と(特に)高速道路流入が貢献。北海道からの流入再度強化したい

岩手は前年比126%・高速道路からの流入が141%で最も貢献(新幹線も前年比2桁増で貢献)

秋田は前年比119%・高速道路からの流入が123%で最も貢献(新幹線も前年比2桁増で貢献)

宮城は前年比99%・北海道と東京圏からの新幹線の流入が貢献した(高速道流入は前年比89%で減少・直近2カ月の前期比84%)

山形は前年比118%・高速道路からの流入133%が最も貢献、東京圏新幹線も116%で貢献

福島は前年比105%・特に東京圏からの新幹線も高速道路流入も105%で貢献した(どちらも直近の2カ月は前期比80%台に留まる)



東京圏からの新幹線流入の構成比と前年比は・・・1-3月(66%・124%) 4-6月(64%・110%) 7-9月(61%・103%) 10-11月(58%・105%)

東京圏からの高速道流入の構成比と前年比は・・・1-3月(33%・106%) 4-6月(35%・113%) 7-9月(38%・104%) 10-11月(40%・105%)

新函館からの新幹線流入の構成比と前年比は・・・1-3月(01%・103%) 4-6月(02%・129%) 7-9月(01%・081%) 10-11月(02%・071%)

## ＜2019年(1-11月計)＞

エリア・期間	100% 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
合計 1-11月	100%	63%	35%	2%
青森 1-11月	100%	64%	31%	5%
岩手 1-11月	100%	47%	52%	1%
秋田 1-11月	100%	79%	20%	0%
宮城 1-11月	100%	64%	34%	1%
山形 1-11月	100%	86%	14%	0%
福島 1-11月	100%	53%	47%	0%

合計	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
197,041	125,047	68,616	3,378
39,053	25,048	12,103	1,902
32,343	15,213	16,686	444
15,989	12,661	3,263	65
65,138	41,987	22,184	967
20,006	17,206	2,800	0
24,512	12,932	11,580	0

構成比前年差			前年比			
新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
0%	0%	0%	111%	111%	110%	93%
2%	2%	-4%	120%	124%	128%	65%
-6%	5%	0%	126%	112%	141%	194%
-1%	1%	0%	119%	117%	123%	-
3%	-4%	1%	99%	104%	89%	198%
-2%	2%	0%	118%	116%	133%	-
0%	0%	0%	105%	105%	105%	-

## ＜2019年10-11月(直近2か月)＞

エリア・期間	100% 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
合計 1-11月	100%	58%	40%	2%
青森 1-11月	100%	60%	35%	5%
岩手 1-11月	100%	43%	55%	2%
秋田 1-11月	100%	67%	31%	1%
宮城 1-11月	100%	62%	36%	1%
山形 1-11月	100%	84%	16%	0%
福島 1-11月	100%	47%	53%	0%

合計	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
48,976	28,442	19,645	889
9,817	5,893	3,421	503
8,590	3,727	4,719	144
4,687	3,149	1,473	65
13,604	8,498	4,929	177
3,820	3,209	611	0
8,458	3,966	4,492	0

構成比前年差			前年比			
新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
1%	0%	-1%	104%	105%	105%	71%
2%	4%	-7%	117%	122%	134%	50%
-3%	3%	0%	132%	124%	139%	152%
-6%	4%	1%	116%	106%	134%	-
4%	-5%	0%	95%	102%	84%	113%
-4%	4%	0%	108%	104%	141%	-
0%	0%	0%	82%	82%	83%	-

## (2)＜青森＞ 1-11月計 流入方法別国籍動向 構成比増加が高い国籍とは？

＜東京圏・新幹線増加・貢献上位国籍＞ 香港が+ 4 %（前年比158%） 中国が+ 2%（前年比134%）

＜東京圏・高速道増加・貢献上位国籍＞ 中国が+ 11%（前年比243%） 香港が+ 8%（前年比242%） 台湾 + 2%

＜新函館・新幹線増加・貢献上位国籍＞ 中国が+ 5%だが前年比が減少（前年比82%）

	国籍	TOTAL	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
1-11月	計	39,053	25,048	12,103	1,902
青森	中国	22%	21%	23%	25%
国籍別	香港	16%	16%	18%	10%
構成比	台湾	15%	15%	18%	2%
	米国	10%	13%	6%	7%
	豪州	4%	4%	3%	0%
	タイ	4%	5%	4%	0%

	国籍	TOTAL	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
1-11月	計	39,053	25,048	12,103	1,902
青森	中国	4%	2%	11%	5%
国籍別	香港	5%	4%	8%	1%
構成比	台湾	1%	1%	2%	-8%
前年差	米国	0%	0%	-2%	2%
	豪州	0%	0%	0%	0%
	タイ	-2%	-3%	0%	-6%

	計	39,053	25,048	12,103	1,902
1-11月	中国	8,499	5,261	2,771	467
青森	香港	6,411	4,092	2,125	194
国籍別	台湾	5,984	3,737	2,200	47
観光客数	米国	4,026	3,160	737	129
	豪州	1,373	1,039	334	0
	タイ	1,670	1,135	535	0

	計	120%	124%	128%	65%
1-11月	中国	150%	134%	243%	82%
青森	香港	172%	158%	242%	74%
国籍別	台湾	128%	133%	141%	-
観光客数	米国	116%	123%	97%	91%
前年比	豪州	130%	135%	118%	-
	タイ	77%	73%	125%	-

## (2) <岩手> 1-11月計 流入方法別国籍動向 構成比増加が高い国籍とは？

<東京圏・新幹線増加・貢献上位国籍> 中国が+6%（前年比159%） 豪州も+1%（前年比138%）

<東京圏・高速道増加・貢献上位国籍> 中国が+15%（前年比286%） 台湾が+4%（前年比187%）  
米国・豪州も前年比1.3倍で牽引している

	国籍	TOTAL	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
1-11月	計	32,343	15,213	16,686	444
岩手	中国	25%	20%	29%	-
国籍別	香港	8%	8%	8%	-
構成比	台湾	14%	12%	16%	-
	米国	11%	13%	8%	40%
	豪州	5%	5%	5%	-
	タイ	5%	5%	5%	-

	国籍	TOTAL	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
1-11月	計	32,343	15,213	16,686	444
岩手	中国	10%	6%	15%	-
国籍別	香港	-1%	0%	-2%	-
構成比	台湾	2%	0%	4%	-
前年差	米国	0%	1%	-1%	40%
	豪州	0%	1%	0%	-
	タイ	-1%	-1%	-1%	-

	計	32,343	15,213	16,686	444
1-11月	中国	7,997	3,100	4,897	-
岩手	香港	2,520	1,230	1,290	-
国籍別	台湾	4,477	1,875	2,602	-
観光客数	米国	3,620	2,031	1,412	177
	豪州	1,540	746	794	-
	タイ	1,622	750	872	-

	計	126%	112%	141%	194%
1-11月	中国	218%	159%	286%	-
岩手	香港	114%	115%	113%	-
国籍別	台湾	145%	110%	187%	-
観光客数	米国	130%	119%	130%	-
前年比	豪州	134%	138%	130%	-
	タイ	104%	98%	109%	-

## (2) <秋田> 1-11月 流入方法別国籍動向 構成比増加が高い国籍とは？

<東京圏・新幹線増加・貢献上位国籍> タイが+3% 香港が+3% (前年比220%)  
中国が+3% (前年比150%) 米国が+3% (前年比153%)

<東京圏・高速道増加・貢献上位国籍> 全体では前年比123%増加、中国が+15% (前年比384%)

	国籍	TOTAL	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発
1-11月	計	15,989	12,661	3,263
秋田	中国	17%	16%	22%
国籍別	香港	9%	11%	5%
構成比	台湾	12%	13%	8%
	米国	10%	12%	2%
	豪州	2%	3%	0%
	タイ	6%	7%	0%

1-11月	計	15,989	12,661	3,263
秋田	中国	2,699	1,988	711
国籍別	香港	1,502	1,341	161
観光客数	台湾	1,922	1,673	249
	米国	1,614	1,561	53
	豪州	353	353	0
	タイ	942	942	0

	国籍	TOTAL	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発
1-11月	計	15,989	12,661	3,263
秋田	中国	6%	3%	15%
国籍別	香港	1%	2%	-3%
構成比	台湾	-2%	-2%	-2%
前年差	米国	2%	3%	2%
	豪州	-1%	-1%	0%
	タイ	1%	3%	-10%

1-11月	計	119%	117%	123%
秋田	中国	179%	150%	384%
国籍別	香港	129%	142%	74%
観光客数	台湾	104%	105%	95%
前年比	米国	158%	153%	-
	豪州	77%	77%	-
	タイ	138%	220%	-

## (2) <宮城> 1-11月 流入方法別国籍動向 構成比増加が高い国籍とは？

<東京圏・新幹線増加・貢献上位国籍> タイが+5%（前年比317%） 香港が各々+3%（前年比160%）  
中国向けの宮城起点訴求を再検討・再強化したい（高速バスの流入含む）

<東京圏・高速道増加・貢献上位国籍> タイが+6%（前年比433%） 香港+4%（前年比325%） 台湾+4%（同209%）

	国籍	TOTAL	新幹線_ 東京圏発	高速道_ 東京圏発	新幹線_ 新函館発
1-11月	計	65,138	41,987	22,184	967
宮城	中国	13%	12%	13%	-
国籍別	香港	6%	7%	6%	-
構成比	台湾	9%	10%	7%	-
	米国	12%	13%	11%	-
	豪州	3%	3%	2%	-
	タイ	7%	8%	7%	-

1-11月	計	65,138	41,987	22,184	967
宮城	中国	8,186	5,246	2,940	0
国籍別	香港	4,211	2,803	1,335	73
観光客数	台湾	6,034	4,403	1,631	0
	米国	7,776	5,370	2,349	57
	豪州	1,849	1,337	512	0
	タイ	4,785	3,170	1,615	0

	国籍	TOTAL	新幹線_ 東京圏発	高速道_ 東京圏発	新幹線_ 新函館発
1-11月	計	65,138	41,987	22,184	967
宮城	中国	-1%	0%	-2%	-
国籍別	香港	3%	3%	4%	-
構成比	台湾	2%	1%	4%	-
前年差	米国	1%	1%	0%	-
	豪州	0%	0%	0%	-
	タイ	5%	5%	6%	-

1-11月	計	99%	104%	89%	198%
宮城	中国	95%	98%	88%	-
国籍別	香港	195%	160%	325%	-
観光客数	台湾	126%	110%	209%	-
前年比	米国	108%	111%	98%	-
	豪州	107%	110%	99%	-
	タイ	349%	317%	433%	-

## (2) <山形> 1-11月 流入方法別国籍動向 構成比増加が高い国籍とは？

<東京圏・新幹線増加・貢献上位国籍> 香港が+5%（前年比195%） 中国が+3%（前年比145%）  
台湾が▲3%（前年比 98%）

<東京圏・高速道増加・貢献上位国籍> 全体では133%と増加傾向、まず上位中華圏3エリアにフォーカスし強化したい

	国籍	TOTAL	新幹線_東京圏発	高速道_東京圏発
1-11月	計	20,006	17,206	2,800
山形	中国	11%	13%	0%
国籍別	香港	12%	13%	6%
構成比	台湾	14%	16%	0%
	米国	10%	11%	5%
	豪州	3%	4%	0%
	タイ	8%	10%	0%

	計	20,006	17,206	2,800
1-11月	中国	2,281	2,281	
山形	香港	2,439	2,262	177
国籍別	台湾	2,713	2,713	
観光客数	米国	1,944	1,815	129
	豪州	691	691	
	タイ	1,691	1,691	

	国籍	TOTAL	新幹線_東京圏発	高速道_東京圏発
1-11月	計	20,006	17,206	2,800
山形	中国	2%	3%	-4%
国籍別	香港	5%	5%	6%
構成比	台湾	-3%	-3%	0%
前年差	米国	1%	1%	5%
	豪州	0%	0%	0%
	タイ	0%	0%	0%

1-11月	計	118%	116%	133%
山形	中国	139%	145%	-
国籍別	香港	211%	195%	-
観光客数	台湾	98%	98%	-
前年比	米国	138%	129%	-
	豪州	113%	113%	-
	タイ	120%	120%	-



## (2) <福島> 1-11月 流入方法別国籍動向 構成比増加が高い国籍とは？

<東京圏・新幹線増加・貢献上位国籍> 台湾が+11%（前年比225%） 香港が+8%（前年比353%）  
ベトナムが+5%（前年比202%） 豪州が+3%（前年比175%）

<東京圏・高速道増加・貢献上位国籍> 台湾が+3%（前年比155%） タイが+4%（前年比137%）

	国籍	TOTAL	新幹線_東京圏発	高速道_東京圏発
1-11月	計	24,512	12,932	11,580
福島	中国	32%	31%	34%
国籍別	香港	10%	11%	9%
構成比	台湾	20%	21%	18%
	米国	22%	22%	22%
	豪州	8%	8%	7%
	タイ	18%	16%	19%
	ベトナム	10%	11%	10%
	韓国	6%	6%	5%

	計	24,512	12,932	11,580
1-11月	中国	7,940	4,010	3,930
福島	香港	2,419	1,406	1,013
国籍別	台湾	4,852	2,735	2,117
観光客数	米国	5,348	2,843	2,505
	豪州	1,848	1,013	835
	タイ	4,321	2,124	2,197
	ベトナム	2,572	1,433	1,139
	韓国	1,394	838	556

	国籍	TOTAL	新幹線_東京圏発	高速道_東京圏発
1-11月	計	24,512	12,932	11,580
福島	中国	0%	1%	-1%
国籍別	香港	5%	8%	3%
構成比	台湾	7%	11%	2%
前年差	米国	2%	1%	2%
	豪州	2%	3%	1%
	タイ	2%	0%	4%
	ベトナム	2%	5%	-2%
	韓国	-3%	-1%	-5%

	計	105%	105%	105%
1-11月	中国	106%	110%	102%
福島	香港	230%	353%	155%
国籍別	台湾	159%	225%	115%
観光客数	米国	113%	108%	118%
前年比	豪州	142%	175%	115%
	タイ	117%	102%	137%
	ベトナム	130%	202%	90%
	韓国	71%	95%	51%



### (3) <青森> 月別 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

<前年比> 直近3か月・・・**143%**⇒109%⇒**139%**で推移

<牽引ルート> 直近3か月・・・東京からの新幹線は2桁増のペース 高速道9・11月は倍増ペース

#### <2019年> 月別 (1月から11月)

		横 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発
県	月	横構成比（流入客数）				流入客数				前年差			前年比			
青森	1月	100%	68%	26%	7%	2,457	1,665	631	161	14%	-6%	-8%	153%	193%	125%	67%
	2月	100%	63%	26%	11%	3,505	2,210	903	392	8%	-6%	-2%	145%	166%	119%	121%
	3月	100%	71%	29%	0%	1,754	1,249	505	0	10%	-2%	-8%	111%	129%	103%	0%
	4月	100%	71%	28%	2%	7,359	5,194	2,046	119	1%	0%	-1%	118%	120%	120%	63%
	5月	100%	62%	28%	10%	2,788	1,717	790	281	-7%	3%	3%	114%	103%	128%	170%
	6月	100%	65%	30%	5%	2,115	1,373	640	102	5%	-1%	-3%	109%	117%	104%	66%
	7月	100%	67%	30%	3%	3,195	2,128	964	103	5%	4%	-9%	104%	112%	122%	28%
	8月	100%	67%	29%	5%	3,344	2,230	963	151	4%	-2%	-1%	111%	117%	103%	84%
	9月	100%	51%	46%	3%	2,719	1,389	1,240	90	-15%	21%	-6%	143%	110%	266%	53%
	10月	100%	59%	35%	6%	6,569	3,906	2,267	396	4%	2%	-6%	109%	117%	115%	53%
	11月	100%	61%	36%	3%	3,248	1,987	1,154	107	-3%	11%	-8%	139%	133%	197%	42%

### (3) <岩手> 月別 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

<前年比> 直近3か月・・・190%⇒97%⇒208%で推移

<牽引ルート> 直近3か月・・・東京からの新幹線は9月と11月で大幅増 高速道同じく9月・11月に2倍以上増加

#### <2019年> 月別 (1月から11月)

県	月	横 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発
		横構成比 (流入客数)				流入客数				前年差			前年比			
岩手	1月	100%	46%	54%	0%	2,599	1,196	1,403		-8%	8%	0%	144%	123%	168%	-
	2月	100%	49%	51%	0%	3,022	1,472	1,550		-5%	5%	0%	130%	119%	142%	-
	3月	100%	56%	44%	0%	1,481	834	647		1%	-1%	0%	110%	112%	107%	-
	4月	100%	42%	58%	0%	5,282	2,230	3,052		-10%	12%	-2%	125%	101%	157%	-
	5月	100%	63%	31%	6%	1,394	875	433	86	2%	-6%	4%	65%	68%	55%	165%
	6月	100%	52%	44%	4%	1,453	755	638	60	-3%	-1%	4%	101%	95%	99%	-
	7月	100%	50%	50%	0%	2,711	1,355	1,356		-5%	5%	0%	141%	127%	157%	-
	8月	100%	53%	43%	4%	2,001	1,056	862	83	-4%	-1%	4%	101%	95%	100%	-
	9月	100%	45%	53%	2%	3,810	1,713	2,026	71	-14%	12%	2%	190%	146%	244%	-
	10月	100%	41%	56%	3%	4,357	1,774	2,439	144	-3%	2%	1%	97%	91%	100%	152%
	11月	100%	46%	54%	0%	4,233	1,953	2,280	0	-6%	6%	0%	208%	183%	236%	-

### (3) <宮城> 月別 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

<前年比> 直近3か月・・・87%⇒95%⇒95%で推移

<牽引ルート> 直近3か月・・・東京からの新幹線は10月以降横ばい回復 高速道流入は前期比マックス続く

#### <2019年> 月別 (1月から11月)

		横 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発
県	月	横構成比 (流入客数)				流入客数				前年差			前年比			
宮城	1月	100%	61%	39%	0%	4,266	2,611	1,655		-3%	3%	0%	111%	105%	122%	-
	2月	100%	62%	34%	3%	5,077	3,171	1,748	158	5%	-8%	3%	122%	132%	99%	-
	3月	100%	66%	34%	0%	4,774	3,173	1,601		2%	-2%	0%	84%	87%	79%	-
	4月	100%	68%	31%	1%	12,524	8,480	3,934	110	5%	-5%	0%	130%	139%	113%	129%
	5月	100%	68%	28%	4%	5,137	3,499	1,448	190	3%	-5%	2%	94%	99%	80%	164%
	6月	100%	62%	35%	3%	5,210	3,233	1,840	137	-3%	0%	3%	102%	98%	101%	-
	7月	100%	62%	38%	0%	5,312	3,288	2,024	0	0%	2%	-2%	81%	82%	85%	0%
	8月	100%	66%	31%	2%	5,001	3,324	1,565	112	8%	-10%	2%	80%	91%	60%	-
	9月	100%	64%	34%	2%	4,233	2,710	1,440	83	4%	-6%	2%	87%	92%	75%	-
	10月	100%	60%	37%	2%	7,751	4,672	2,902	177	6%	-6%	0%	95%	105%	81%	113%
	11月	100%	65%	35%	0%	5,853	3,826	2,027	0	2%	-2%	0%	95%	99%	89%	-

### (3) <秋田> 月別 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

<前年比> 直近3か月・・・95%⇒87%⇒**201%**で推移

<牽引ルート> 直近3か月・・・東京からの新幹線は11月回復 高速道流入は11月に回復

#### <2019年> 月別 (1月から11月)

		横 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	合計	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発
県	月	横構成比 (流入客数)				流入客数				前年差			前年比			
秋田	1月	100%	80%	20%	0%	729	581	148	0	-7%	<b>7%</b>	0%	<b>84%</b>	77%	<b>129%</b>	-
	2月	100%	88%	12%	0%	1,760	1555	205	0	<b>6%</b>	-6%	0%	<b>149%</b>	<b>160%</b>	99%	-
	3月	100%	100%	0%	0%	723	723	0	0	<b>21%</b>	-21%	0%	<b>108%</b>	<b>137%</b>	0%	-
	4月	100%	79%	21%	0%	2,367	1878	489	0	0%	0%	0%	<b>139%</b>	138%	<b>142%</b>	-
	5月	100%	89%	11%	0%	890	789	101	0	<b>4%</b>	-4%	0%	<b>101%</b>	<b>106%</b>	75%	-
	6月	100%	82%	18%	0%	1,120	915	205	0	-2%	<b>2%</b>	0%	<b>121%</b>	118%	<b>133%</b>	-
	7月	100%	82%	18%	0%	1,324	1,092	232	0	-18%	<b>18%</b>	0%	<b>119%</b>	98%	-	-
	8月	100%	84%	16%	0%	1,542	1,292	250	0	<b>7%</b>	-7%	0%	<b>132%</b>	<b>145%</b>	91%	-
	9月	100%	81%	19%	0%	847	687	160	0	<b>2%</b>	-2%	0%	<b>95%</b>	<b>97%</b>	86%	-
	10月	100%	70%	28%	2%	2,646	1,840	741	65	<b>1%</b>	-3%	<b>2%</b>	<b>87%</b>	<b>88%</b>	78%	-
	11月	100%	64%	36%	0%	2,041	1,309	732	0	-22%	<b>22%</b>	0%	<b>201%</b>	<b>150%</b>	<b>515%</b>	-

### (3) <山形> 上期 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

<前年比> 直近3か月・・・94%⇒133%⇒87%で推移

<牽引ルート> 直近3か月・・・東京からの新幹線は10月が牽引(9・12月は減少) 高速道流入は10月が大きく増加で牽引

#### <2019年> 月別 (1月から11月)

		横 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発
県	月	横構成比 (流入客数)				流入客数				前年差			前年比			
山形	1月	100%	92%	8%	0%	3,387	3,103	284	0	0%	0%	0%	160%	160%	167%	-
	2月	100%	89%	11%	0%	3,851	3,422	429	0	-4%	4%	0%	142%	136%	217%	-
	3月	100%	90%	10%	0%	1,382	1,250	132	0	2%	-2%	0%	103%	105%	87%	-
	4月	100%	82%	18%	0%	2,329	1,907	422	0	-8%	8%	0%	140%	128%	245%	-
	5月	100%	94%	6%	0%	941	881	60	0	9%	-9%	0%	77%	85%	32%	-
	6月	100%	80%	20%	0%	1,052	841	211	0	0%	0%	0%	94%	95%	92%	-
	7月	100%	79%	21%	0%	1,202	953	249	0	-3%	3%	0%	111%	107%	132%	-
	8月	100%	78%	22%	0%	1,217	945	272	0	-4%	4%	0%	93%	88%	115%	-
	9月	100%	84%	16%	0%	825	695	130	0	-1%	1%	0%	94%	94%	98%	-
	10月	100%	86%	14%	0%	2,144	1,848	296	0	-5%	5%	0%	133%	126%	203%	-
	11月	100%	81%	19%	0%	1,676	1,361	315	0	-4%	4%	0%	87%	83%	109%	-

### (3) <福島> 上期 東京圏と新函館からの新幹線流入及び東京圏からの高速道流入

<前年比> 直近3か月・・・100%⇒79%⇒86%で推移

<牽引ルート> 直近3か月・・・東京からの新幹線は10月11月停滞 高速道流入の前年比10月11月停滞

#### <2019年> 月別（1月から11月）

		横 構成比	新幹線 東京圏発	高速道 東京圏発	新幹線 新函館発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発	合計	新幹線 東京圏 発	高速道 東京圏 発	新幹線 新函館 発
県	月	横構成比（流入客数）				流入客数				前年差			前年比			
福島	1月	100%	54%	46%	0%	2,847	1,535	1,312	0	10%	-10%	0%	97%	118%	80%	-
	2月	100%	57%	43%	0%	3,679	2,095	1,584	0	7%	-7%	0%	128%	147%	110%	-
	3月	100%	49%	51%	0%	3,941	1,922	2,019	0	2%	-2%	0%	91%	95%	88%	-
	4月	100%	52%	48%	0%	7,688	4,013	3,675	0	-8%	8%	0%	105%	91%	126%	-
	5月	100%	53%	47%	0%	3,353	1,765	1,588	0	-6%	6%	0%	101%	90%	116%	-
	6月	100%	53%	47%	0%	3,004	1,602	1,402	0	6%	-6%	0%	114%	127%	102%	-
	7月	100%	53%	47%	0%	3,506	1,842	1,664	0	4%	-4%	0%	104%	112%	96%	-
	8月	100%	48%	52%	0%	3,250	1,567	1,683	0	6%	-6%	0%	99%	112%	89%	-
	9月	100%	51%	49%	0%	3,026	1,545	1,481	0	2%	-2%	0%	100%	104%	96%	-
	10月	100%	44%	56%	0%	4,647	2,022	2,625	0	-3%	3%	0%	79%	74%	84%	-
	11月	100%	51%	49%	0%	3,811	1,944	1,867	0	3%	-3%	0%	86%	93%	81%	-

## < 4. 動態調査・モバイル空間統計による・・・メッシュ1(1k)単位のエリア同行の昨年との変化 >

## (0)考察・インサイト

- ・上位20地点中17地点が前年比2桁増となった、140%以上増加は8地点となった。
- ・**5位松島は、前年比211%**で順位も8段階アップ。**台湾・香港・米国の順で前年差大幅増**となった（台湾は1万人以上増）今後の定着や持続的成長のために何が必要か、現地のメジャーなSNSなどで分析していくことが重要なステージとなった。
- ・**8位銀山温泉は、前年比141%**で順位も7段階アップした。**台湾・タイ・香港の順で前年増大幅増**に貢献した。**各国の旅行シーズンと日本の繁忙期の帳合を取りながら定着図る。**
- ・**11位山形駅(東側)は、前年比149%**で順位も6段階アップした。**台湾・香港・中国の順で前年比大幅増**に貢献した。**蔵王に留まらず、単独で魅力度を上げていくことが重要。**
- ・**12位安比高原は、前年比179%**で順位も14段階アップした。**中国・台湾・香港の順で前年差大幅増**に貢献した（特に中国は1万人以上増）子供が評価すれば毎年リピートとなる可能性高い。またスキーをしない家族を飽きさせないソフトコンテンツを検討していく。
- ・**16位盛岡中央通は、前年比154%**で順位も11段階アップした。**台湾・中国・香港の順で前年差大幅増**に貢献した、特に広域に動く**台湾・香港の個人客の評価ポイントを把握し強化**していきたい。
- ・台湾は安比高原以外の多くのランキングアップ地点で前年増1位となった。また香港も軒並み前年増上位に入った。**台湾と香港の2エリアでの成功要因を現地のSNSなどから把握し先回り対処**していくことが今後の持続的な成長のために重要な段階に入った。
- ・**中国の傾向は他の中華圏と異なる傾向**を示しており、**中国単独のデジタルマーケティングを遂行**していく必要があるので検討していきたい。



# 1kメッシュ単位のエリア動向の分析1(ランキング20位まで)

①前年からランキング急上昇箇所はどこか？

上位20地点中17地点が前年比2桁増、140%以上増は8地点となった。

- ・5位の松島は、前年比が211%で順位も8段階アップした。台湾・香港・米国の順で前年差大幅増に貢献した（特に台湾は1万人以上増）
- ・8位の銀山温泉は、前年比141%で順位も7段階アップした。台湾・タイ・香港の順で前年増大幅増に貢献した。
- ・11位の山形駅(東側)は、前年比149%で順位も6段階アップした。台湾・香港・中国の順で前年増大幅増に貢献した。
- ・12位の安比高原は、前年比179%で順位も14段階アップした。中国・台湾・香港の順で前年差大幅増に貢献した（特に中国は1万人以上増）
- ・16位の盛岡中央通は、前年比154%で順位も11段階アップした。台湾・中国・香港の順で前年差大幅増に貢献した
- ・台湾は安比高原以外の多くのランキングアップ地点で前年増1位となった。また香港も軒並み前年増上位に入った。

(国籍別の傾向は次頁以降に掲載)

年間 順位	メッシュ(1k)地点名称	県	前年 順位差	旅行者数 1-12計 単位：人	年間 前年 比	1Q	2Q	3Q	4Q	上位55位累積旅行者数中の人数シェア											
						1-3月 前年 同期比	4-6月 前年 同期比	7-9月 前年 同期比	10-12 前年 同期比	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
						94,613	110,833	66,356	143,713	75,222	68,163	79,333	83,692	73,380	151,443	145,193	115,994				
1	宮城県 仙台市青葉区中央（仙台駅前西側）	宮城		200,316	<b>116%</b>	118%	117%	113%	<b>129%</b>	11.0%	9.8%	13.1%	12.3%	13.5%	15.7%	13.7%	13.4%	13.1%	10.7%	11.0%	12.4%
2	宮城県 仙台市青葉区国分町（歓楽街）	宮城		89,110	<b>119%</b>	122%	123%	113%	<b>132%</b>	4.3%	3.8%	6.0%	5.3%	6.4%	7.3%	6.5%	5.9%	6.5%	3.9%	4.6%	6.3%
3	宮城県 仙台市青葉区五橋（仙台駅前南西側）	宮城		86,042	<b>129%</b>	106%	145%	132%	<b>165%</b>	3.7%	3.2%	5.6%	5.8%	6.0%	6.9%	6.5%	5.6%	6.5%	4.7%	5.1%	6.0%
4	青森県 青森市篠田（青森駅前西側）	青森		58,840	<b>120%</b>	121%	118%	122%	<b>148%</b>	2.8%	3.0%	2.9%	4.2%	3.9%	3.3%	4.2%	5.3%	3.4%	4.5%	3.4%	3.2%
5	宮城県 松島町 松島（松島海岸周辺）	宮城	8 ↑	56,882	<b>211%</b>	187%	214%	230%	<b>133%</b>	2.4%	2.2%	3.4%	3.7%	4.3%	4.5%	3.9%	4.0%	4.4%	3.8%	4.4%	4.0%
6	青森県 青森市安方（青森駅前東北側）	青森	-1	52,168	<b>110%</b>	113%	97%	123%	<b>142%</b>	3.0%	3.0%	1.8%	3.4%	3.3%	2.8%	3.8%	4.9%	3.3%	4.1%	3.5%	2.6%
7	宮城県 名取市 下増田（仙台空港）	宮城	-1	47,344	<b>112%</b>	103%	114%	116%	<b>173%</b>	2.8%	1.7%	2.3%	2.1%	3.6%	3.7%	3.9%	4.0%	4.0%	2.2%	3.3%	3.2%
8	山形県 尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉）	山形	7 ↑	34,702	<b>141%</b>	123%	172%	192%	<b>175%</b>	4.3%	3.8%	2.9%	1.2%	1.2%	1.7%	2.0%	1.0%	1.3%	1.5%	2.5%	5.1%
9	宮城県 仙台市宮城野区 仙台港北（ヨットハーバー）	宮城		34,184	<b>106%</b>	82%	116%	128%	<b>156%</b>	2.1%	1.6%	2.5%	1.4%	2.3%	3.0%	2.9%	2.2%	2.4%	1.7%	2.1%	2.3%
10	山形県 山形市 蔵王温泉（樹氷高原周辺）	山形	1	33,554	<b>118%</b>	118%	136%	75%	<b>124%</b>	6.7%	6.4%	3.3%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.3%	0.5%	3.7%
11	山形県 山形市 香澄町（山形駅東口）	山形	6 ↑	33,302	<b>149%</b>	162%	135%	127%	<b>140%</b>	3.8%	4.4%	3.0%	1.3%	1.0%	1.3%	1.3%	1.3%	0.9%	1.1%	1.3%	3.0%
12	岩手県 八幡平市 安比高原（宿街）	岩手	14 ↑	32,656	<b>179%</b>	109%	476%	354%	<b>306%</b>	2.8%	3.0%	2.6%	1.3%	2.0%	1.3%	0.8%	1.6%	3.4%	2.6%	2.6%	3.4%
13	岩手県 盛岡市 新田町（盛岡駅北西）	岩手	1	30,990	<b>117%</b>	136%	106%	113%	<b>153%</b>	1.8%	2.1%	1.6%	2.4%	1.6%	1.7%	2.0%	2.1%	1.6%	2.0%	1.7%	1.5%
14	青森県 弘前市 大字下白銀町（弘前城）	青森	-2	30,082	<b>108%</b>	109%	102%	128%	<b>186%</b>	0.7%	1.0%	0.7%	4.6%	2.2%	1.3%	1.4%	1.8%	1.5%	2.6%	2.0%	1.0%
15	宮城県 仙台市青葉区 霊屋下（政宗公廟）	宮城	5 ↑	28,844	<b>136%</b>	131%	156%	121%	<b>117%</b>	1.4%	1.1%	1.9%	1.5%	2.5%	2.8%	2.0%	1.8%	2.2%	1.2%	1.3%	1.6%
16	岩手県 盛岡市 中央通（盛岡中心街）	岩手	11 ↑	27,320	<b>154%</b>	117%	156%	177%	<b>247%</b>	0.8%	1.0%	1.1%	2.2%	1.7%	1.7%	2.1%	2.4%	2.4%	2.1%	1.8%	1.0%
17	青森県 青森市 大谷＝青森空港	青森	-10	27,292	<b>82%</b>	92%	66%	88%	<b>116%</b>	2.8%	2.3%	1.2%	1.5%	1.0%	1.2%	1.5%	1.9%	1.5%	1.9%	2.0%	1.5%
18	宮城県 名取市 下増田（仙台空港）	宮城	4	27,206	<b>143%</b>	133%	149%	150%	<b>234%</b>	1.7%	1.8%	1.9%	1.1%	1.7%	2.2%	1.9%	1.7%	1.8%	1.3%	1.7%	2.5%
19	山形県 山形市 蔵王温泉（バス・ミル・ゲレンデ）	山形	5 ↑	26,814	<b>145%</b>	149%	154%	89%	<b>132%</b>	4.4%	4.9%	2.8%	0.4%	0.6%	0.4%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%	0.5%	2.1%
20	岩手県 八幡平市 安比高原（牧場からスキー場）	岩手	9 ↑	26,454	<b>155%</b>	100%	305%	299%	<b>230%</b>	2.1%	2.5%	2.3%	1.0%	1.8%	1.4%	0.9%	1.0%	2.3%	1.6%	2.2%	2.7%

# 1kメッシュ単位のエリア動向の分析1(ランキング20位まで) ②急上昇箇所を特に牽引している国はどこか？

ランキング上位で急増の下記3エリアは、特に台湾・香港・中国の中華圏3エリアが貢献した

## 5位 (前年比211%) 宮城県 松島町 松島

台湾 2.0倍 (+11.6千人)  
 香港 1.8倍 (+2.8千人)  
 米国 2.5倍 (+1.7千人)  
 中国 1.7倍 (+1.1千人) が牽引



## 8位 (前年比141%) 山形県 尾花沢市 銀山新畑 銀山温泉

台湾 1.6倍 (+6.0千人)  
 タイ 2.6倍 (+1.8千人)  
 香港 1.5倍 (+1.8千人) が牽引  
 (下位の中国や米国も急増中)



## 12位 (前年比179%) 岩手県 八幡平市 安比高原

中国 6.2倍 (+11.2千人)  
 台湾 1.6倍 (+1.1千人)  
 香港 1.4倍 (+0.5千人)  
 豪州 1.9倍 (+0.4千人) が牽引



1-12月累計旅行客数		同 前年比	同前年 差 (百人)
今年	昨年		

宮城県 松島町 松島 (松島海岸周辺)						
昨年差	1位	台湾	23,268	11,621	200%	116
昨年差	2位	香港	6,344	3,581	177%	28
昨年差	3位	米国	2,875	1,145	251%	17
昨年差	4位	中国	2,732	1,601	171%	11
昨年差	5位	豪州	572	140	409%	4
昨年差	6位	韓国	1,081	941	115%	1
昨年差		タイ	3,146	3,296	95%	-2

山形県 尾花沢市 銀山新畑 (銀山温泉)						
昨年差	1位	台湾	16,178	10,204	159%	60
昨年差	2位	タイ	2,981	1,138	262%	18
昨年差	3位	香港	5,196	3,423	152%	18
昨年差	4位	中国	984	362	272%	6
昨年差	5位	米国	709	178	398%	5
昨年差	6位	シンガポール	391	182	215%	2
昨年差	7位	韓国	354	185	191%	2

岩手県 八幡平市 安比高原 (宿街)						
昨年差	1位	中国	13,386	2,175	615%	112
昨年差	2位	台湾	9,247	5,899	157%	33
昨年差	3位	香港	1,752	1,286	136%	5
昨年差	4位	豪州	856	450	190%	4
昨年差	5位	タイ	329	0	-	3
昨年差	6位	米国	95	0	-	1
昨年差	7位	韓国	859	893	96%	0
昨年差	8位	シンガポール	0	46	0%	0

ランキング上位で急増の下記3エリアは、主に台湾・香港・中国・タイの4エリアが貢献した

11位（前年比149%）**山形県** 山形市 香澄町 山形駅東側

台湾 1. 9倍 (+4.7千人)  
 香港 2. 3倍 (+2.2千人)  
 中国 2. 0倍 (+0.7千人)  
 タイ 1. 2倍 (+0.4千人)  
 が牽引



15位（前年比136%）**宮城県** 仙台市青葉区霊屋下（政宗公廟）

台湾 2. 1倍 (+3.0千人)  
 香港 1. 8倍 (+0.7千人)  
 米国 1. 4倍 (+0.6千人)  
 中国 1. 2倍 (+0.5千人)  
 タイ 1. 1倍 (+0.1千人)  
 が牽引する



16位（前年比154%）**岩手県** 盛岡市 中央通＝中心街

台湾 2. 7倍 (+4.6千人)  
 中国 2. 3倍 (+2.1千人)  
 香港 2. 3倍 (+1.4千人)  
 タイ 1. 7倍 (+0.5千人)  
 が牽引する



1-12月累計旅行客数		同 前年比	同前年 差 (百人)
今年	昨年		

山形県 山形市 香澄町（山形駅東口）

昨年差	1 位	台湾	9960	5285	188%	47
昨年差	2 位	香港	3875	1686	230%	22
昨年差	3 位	中国	1417	717	198%	7
昨年差	4 位	タイ	2646	2252	117%	4
昨年差	5 位	米国	1106	986	112%	1
昨年差	6 位	豪州	299	342	87%	0
昨年差		韓国	463	883	52%	-4

宮城県 仙台市青葉区 霊屋下（政宗公廟）

昨年差	1 位	台湾	5761	2784	207%	30
昨年差	2 位	香港	1520	858	177%	7
昨年差	3 位	米国	2176	1556	140%	6
昨年差	4 位	中国	3463	2984	116%	5
昨年差	5 位	タイ	1223	1090	112%	1
昨年差	6 位	豪州	147	78	188%	1
昨年差		韓国	869	1245	70%	-4

岩手県 盛岡市 中央通（盛岡中心街）

昨年差	1 位	台湾	7331	2745	267%	46
昨年差	2 位	中国	3686	1607	229%	21
昨年差	3 位	香港	2409	1036	233%	14
昨年差	4 位	タイ	1107	650	170%	5
昨年差	5 位	米国	1356	915	148%	4
昨年差	6 位	豪州	565	274	206%	3
昨年差		韓国	436	497	88%	-1

## 1kメッシュ単位のエリア動向の分析2（ランキング40位まで） ①前年からランキング急上昇箇所はどこか？

- ・23位の福島県・大内(宿)は、前年比が156%で9段階アップした。台湾・香港の順で前年増に貢献した。
  - ・33位の秋田県・角館は、前年比が132%で8段階アップした。台湾・香港・タイ・中国の順で前年増に貢献。
  - ・37位の岩手県・金矢温泉・台温泉は、前年比155%で11段階アップ。台湾・香港の順で前年増に貢献した。
- (詳細は県別の頁へ)

年間 順	メッシュ(1k)地点名称	県	前年 順位差	旅行客数 1-12計 単位：人	年間 前年 比	1Q	2Q	3Q	4Q	上位55位累積旅行客数中の人数シェア											
						1-3月 前年	4-6月 前年	7-9月 前年	10-12 前年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										94,613	110,833	66,356	143,713	75,222	68,163	79,333	83,692	73,380	151,443	145,193	115,994
21	青森県 弘前市 若党町（弘前城北エリア）	青森	-11	25,692	84%	90%	87%	72%	126%	1.2%	1.1%	0.6%	3.9%	2.0%	0.8%	1.0%	0.9%	1.1%	1.8%	1.6%	0.4%
22	山形県 山形市 蔵王温泉（蔵王・ウエイ・宿街）	山形	-1	25,650	129%	130%	184%	73%	124%	4.6%	4.7%	2.6%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	2.5%
23	福島県 下郷町 大内（大内宿）	福島	9 ↑	24,744	156%	159%	145%	171%	116%	1.9%	2.2%	2.1%	1.6%	1.4%	1.4%	1.2%	0.9%	1.0%	1.6%	2.3%	1.7%
24	青森県 十和田市法量（奥入瀬川上流）	青森	-1	24,732	133%	159%	126%	125%	110%	1.2%	1.4%	0.8%	1.3%	2.0%	2.0%	2.7%	1.3%	1.6%	2.2%	2.2%	0.5%
25	岩手県 花巻市 湯本（花巻温泉）	岩手	-6	24,682	112%	95%	108%	148%	108%	1.0%	1.4%	2.6%	1.5%	1.8%	1.5%	1.5%	1.4%	1.6%	1.7%	1.5%	1.3%
26	秋田県 秋田市 手形（秋田駅前東側）	秋田	10 ↑	22,516	152%	168%	154%	141%	138%	0.8%	1.1%	1.5%	1.8%	1.5%	1.3%	1.5%	2.1%	1.1%	1.2%	1.3%	1.0%
27	宮城県 松島町 高城（松島駅）	宮城	12 ↑	22,308	167%	137%	177%	182%	121%	0.9%	0.8%	1.4%	1.4%	1.7%	1.7%	1.8%	1.6%	1.7%	1.0%	1.4%	1.3%
28	青森県 おいらせ町 若葉（星野リゾート周辺）	青森	-20	22,230	68%	66%	66%	75%	87%	1.6%	1.8%	1.3%	1.3%	1.1%	1.7%	1.6%	1.1%	1.1%	1.7%	1.1%	1.0%
29	山形県 山形市 上町（山形駅南西エリア）	山形	8 ↑	20,796	148%	184%	113%	107%	146%	2.4%	2.9%	1.7%	0.9%	0.6%	0.8%	0.8%	0.6%	0.5%	0.7%	0.8%	1.9%
30	青森県 十和田市 奥瀬（十和田湖南湖畔）	青森	-12	20,218	90%	54%	96%	103%	110%	0.2%	0.6%	0.5%	1.2%	2.0%	1.5%	1.7%	1.9%	2.4%	4.0%	2.4%	0.7%
31	青森県 弘前市 大町（弘前駅前西側）	青森	-15	19,574	85%	66%	96%	86%	101%	0.8%	0.9%	0.6%	2.3%	1.3%	1.0%	1.0%	1.3%	1.0%	1.6%	0.9%	0.7%
32	秋田県 仙北市 角館町小勝田（角館北側）	秋田	-7	18,422	100%	70%	100%	137%	135%	0.6%	0.6%	0.9%	1.8%	1.3%	1.3%	1.2%	1.2%	1.4%	2.7%	2.1%	1.3%
33	秋田県 仙北市 角館町	秋田	8 ↑	17,568	132%	137%	130%	132%	185%	0.8%	0.9%	0.9%	1.8%	1.2%	1.0%	1.1%	0.9%	0.7%	1.7%	2.0%	0.7%
34	秋田県 秋田市 保戸野通町（秋田千秋公園西）	秋田	9 ↑	16,250	131%	136%	135%	125%	120%	0.5%	0.7%	0.8%	1.3%	0.9%	0.9%	1.0%	2.1%	0.9%	0.9%	1.0%	0.7%
35	福島県 郡山市 堂前町（郡山駅南西エリア）	福島	7 ↑	16,144	126%	120%	147%	106%	84%	0.7%	1.0%	1.5%	1.4%	1.1%	0.8%	0.9%	0.8%	0.7%	0.6%	0.6%	0.4%
36	山形県 天童市 老野森（天童駅東北エリア）	山形	-3	15,590	103%	81%	119%	132%	118%	1.1%	1.0%	1.2%	0.9%	0.9%	1.2%	1.2%	0.7%	0.7%	1.0%	1.4%	1.0%
37	岩手県 花巻市 金矢（金矢・台温泉）	岩手	11 ↑	15,542	155%	154%	119%	228%	182%	0.8%	0.5%	1.6%	0.7%	1.3%	1.2%	1.1%	1.0%	1.3%	1.2%	1.2%	1.1%
38	岩手県 一関市 東山町長坂（梟鼻溪など）	岩手	6 ↑	15,426	125%	82%	91%	251%	171%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.9%	1.2%	1.3%	2.1%	2.9%	2.4%	1.0%
39	福島県 福島市 太田町（福島駅前西）	福島	-1	14,820	107%	106%	110%	105%	100%	0.9%	0.5%	1.0%	1.4%	0.9%	0.9%	0.8%	1.1%	0.7%	0.7%	0.5%	0.4%
40	青森県 弘前市 代官町（観光ホテル周辺エリア）	青森	-12	14,566	82%	84%	85%	78%	112%	0.7%	0.8%	0.4%	1.4%	1.0%	0.6%	0.8%	1.1%	0.8%	1.2%	0.7%	0.5%

# 今期1-9月計 メッシュエリア分析3 ランキング55位 前年からランキング上昇箇所は

- ・41位の福島県・鶴ヶ城は、ランキング入りし8段階アップした。台湾・タイ・香港の順で前年増に貢献した。
  - ・42位の宮城県・川内は、前年比が129%で5段階アップした。台湾・タイ・香港の順で前年増に貢献した。
  - ・49位の青森県・八戸駅周辺は、ランク入りしで4段階アップ。台湾・中国・香港の順で前年増に貢献した。
- (詳細は県別の頁へ)

年間 順	メッシュ(1k)地点名称	県	前年 順位差	旅行客数 1-12計 単位:人	年間 前年 比	1Q	2Q	3Q	4Q	上位55位累積旅行客数中の人数シェア											
						1-3月 前年	4-6月 前年	7-9月 前年	10-12 前年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										94,613	110,833	66,356	143,713	75,222	68,163	79,333	83,692	73,380	151,443	145,193	115,994
41	福島県 会津若松市 追手町 (鶴ヶ城)	福島	8 ↑	13,590	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.9%	0.9%	1.0%	1.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%	0.6%	0.8%	0.8%
42	宮城県 仙台市青葉区川内 (東北大・本丸跡)	宮城	5 ↑	13,308	129%	191%	111%	119%	124%	0.6%	0.6%	0.8%	0.6%	1.1%	0.9%	1.1%	0.9%	1.2%	0.6%	0.8%	0.6%
43	山形県 天童市 天童 (公園・舞鶴山)	山形	7 ↑	13,168	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.9%	0.8%	1.3%	0.8%	0.6%	1.0%	1.0%	0.4%	0.8%	0.9%	1.1%	1.0%
44	宮城県 仙台市青葉区 青葉山 (国際センター)	宮城	-9	13,150	88%	89%	145%	61%	108%	0.5%	0.3%	0.5%	0.8%	1.4%	0.9%	0.9%	0.9%	1.4%	0.4%	0.7%	0.4%
45	青森県 青森市 大字大谷 (青森空港)	青森	-5	12,506	94%	140%	85%	57%	88%	1.4%	1.3%	0.7%	0.5%	0.6%	0.7%	0.6%	0.6%	0.5%	0.6%	0.6%	0.5%
46	宮城県 仙台市青葉区 二日町 (国分町北隣)	宮城	5 ↑	12,494	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.4%	0.5%	0.7%	0.6%	1.2%	1.1%	0.8%	1.0%	1.3%	0.5%	0.6%	0.7%
47	秋田県 秋田市 雄和椿川 (秋田空港)	秋田	-13	12,412	83%	102%	65%	94%	54%	0.4%	1.2%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	0.8%	0.5%	0.9%	0.5%	0.4%
48	宮城県 名取市 下増田 (仙台空港)	宮城	4	11,802	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.6%	0.6%	1.0%	0.5%	0.7%	1.2%	0.8%	0.8%	0.7%	0.7%	1.0%	0.9%
49	青森県 八戸市 大字尻内町 (八戸駅周辺)	青森	4	11,334	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.5%	0.7%	0.5%	0.5%	0.9%	0.8%	1.1%	0.9%	0.7%	1.1%	0.7%	0.3%
50	宮城県 岩沼市 下野郷 (仙台空港南部)	宮城	-20	10,962	66%	58%	82%	63%	133%	0.8%	0.5%	0.9%	0.4%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.9%	1.0%
51	秋田県 秋田市 中通 (秋田駅前西中心街)	秋田	3	10,756	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.4%	0.5%	0.5%	0.8%	0.7%	0.6%	0.7%	1.0%	0.8%	0.5%	0.8%	0.7%
52	青森県 青森市 長島 (青森駅東南エリア)	青森	3	10,418	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.5%	0.6%	0.4%	0.8%	0.7%	0.4%	0.6%	1.4%	0.4%	0.8%	0.5%	0.4%
53	青森県 青森市 大字石江 (新青森駅周辺部)	青森	-7	10,344	86%	74%	97%	87%	140%	0.6%	0.7%	0.3%	0.8%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.6%	1.1%	0.5%	0.5%
54	秋田県 仙北市 田沢湖田沢 湖畔東側	秋田	-9	9,840	81%	68%	83%	98%	145%	0.5%	0.7%	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.8%	0.8%	0.7%	1.3%	1.0%	0.6%
55	秋田県 仙北市 田沢湖小松 (角館隣接エリア)	秋田	1	9,724	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	ランク入	0.4%	0.5%	0.6%	1.1%	0.5%	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%	1.0%	0.8%	0.4%



# <青森県> 今期の東北ベスト55位内・1kメッシュエリアランキングで上昇箇所の動向

- 青森駅,弘前城,八戸駅は主に台湾の増加・次いで香港の増加が牽引した。
- 奥入瀬上流及び八戸駅では中国の増加が牽引した。
- 中国の増減動向は注視(静的観光のみは避けられる可能性が高い、動的コンテンツ・親子が楽しめるコンテンツの拡充が重要)



			1-12月累計旅行客数		同	同前年	
			今期	昨年	前年比	差（百人）	
4位：青森県 青森市篠田（青森駅前西側） 前年比120%							
昨年差	1	位	台湾	15386	8244	187%	71
昨年差	2	位	香港	8146	5994	136%	22
昨年差	3	位	米国	2460	1396	176%	11
昨年差	4	位	タイ	4093	3376	121%	7
昨年差	5	位	豪州	856	596	144%	3
昨年差	6	位	シンガポール	796	556	143%	2
昨年差	7	位	韓国	2660	3526	75%	-9
昨年差	8	位	中国	6039	7508	80%	-15
14位：青森県 弘前市 大字下白銀町（弘前城） 前年比108%							
昨年差	1	位	台湾	8331	5009	166%	33
昨年差	2	位	香港	3905	2110	185%	18
昨年差	3	位	タイ	1277	902	142%	4
昨年差	4	位	米国	992	644	154%	3
昨年差	5	位	豪州	462	364	127%	1
昨年差	6	位	インドネシア	195	135	144%	1
昨年差	7	位	韓国	1135	1551	73%	-4
昨年差	8	位	中国	3129	4100	76%	-10
24位：青森県 十和田市法量（奥入瀬上流 渓流駅おいらせ） 前年比133%							
昨年差	1	位	中国	4784	3376	142%	14
昨年差	2	位	台湾	7973	6709	119%	13
昨年差	3	位	香港	2887	2031	142%	9
昨年差	4	位	米国	799	142	563%	7
昨年差	5	位	韓国	2044	1547	132%	5
49位：青森県 八戸市 大字尻内町（八戸駅周辺） ランク入り							
昨年差	1	位	台湾	3176	0	ランク入	32
昨年差	2	位	中国	1699	0	ランク入	17
昨年差	3	位	香港	1454	0	ランク入	15
昨年差	4	位	米国	573	0	ランク入	6
昨年差	5	位	タイ	152	0	ランク入	2

# <岩手県> 今期の東北ベスト55位内・1kメッシュエリアランキングで上昇箇所の動向

- ・上昇傾向の右記 5 エリアは全て中華圏の3国が貢献している
- ・人数シェアは台湾が圧倒的1位
- ・香港は安比高原、湯本以外でほぼ2倍の傾向となった



			1-12月累計旅行客数		同 前年比	同前年 差 (百人)	
			今期	昨年			
37位：岩手県 花巻市 金矢（金矢・台温泉） 前年比155%							
昨年差	1	位	台湾	8873	5012	177%	39
昨年差	2	位	香港	1730	696	249%	10
昨年差	3	位	中国	618	0	－	6
昨年差	4	位	米国	58	0	－	1
25位：岩手県 花巻市 湯本（花巻温泉） 前年比112%							
昨年差	1	位	香港	2799	1888	148%	9
昨年差	2	位	中国	1258	514	245%	7
昨年差	3	位	台湾	12097	11964	101%	1
昨年差	4	位	米国	196	66	297%	1
昨年差			韓国	74	133	56%	－1
昨年差			タイ	0	129	0%	－1
38位：岩手県 一関市 東山町長坂（狢鼻溪など） 前年比125%							
昨年差	1	位	中国	2714	71	3823%	26
昨年差	2	位	台湾	8306	6499	128%	18
昨年差	3	位	香港	2058	968	213%	11
昨年差	4	位	タイ	1709	801	213%	9
昨年差	5	位	米国	271	83	－	2

再掲

<b>12位：岩手県 八幡平市 安比高原（宿街） 前年比179%</b>						
昨年差	1 位	中国	13,386	2,175	615%	112
昨年差	2 位	台湾	9,247	5,899	157%	33
昨年差	3 位	香港	1,752	1,286	136%	5
昨年差	4 位	豪州	856	450	190%	4
昨年差	5 位	タイ	329	0	-	3
昨年差	6 位	米国	95	0	-	1
昨年差	7 位	韓国	859	893	96%	0
昨年差	8 位	シンガポール	0	46	0%	0
<b>16位：岩手県 盛岡市 中央通（盛岡中心街） 前年比154%</b>						
昨年差	1 位	台湾	7331	2745	267%	46
昨年差	2 位	中国	3686	1607	229%	21
昨年差	3 位	香港	2409	1036	233%	14
昨年差	4 位	タイ	1107	650	170%	5
昨年差	5 位	米国	1356	915	148%	4
昨年差	6 位	豪州	565	274	206%	3
昨年差		韓国	436	497	88%	-1

# <宮城県> 今期の東北ベスト55位内・1kメッシュエリアランキングで上昇箇所の動向

・ベスト55位内の代表 5 エリアで  
前年増に寄与しているのは台湾  
次いで香港、タイと続く

・台湾便の増便を受け、東北の  
ゲートウェイとして仙台周辺が上  
昇傾向

・外国人宿泊者数の割合に対し  
て、中国の伸びが低調  
特に国分町では低位にあり、ナ  
イトタイムエコノミーの観点からもプ  
ロモーション強化が必要



1-12月累計旅行客数		同 前年比	同前年 差 (百人)
今期	昨年		

## 2位：宮城県 仙台市青葉区国分町（歓楽街） 前年比119%

昨年差	1 位	台湾	22698	14208	160%	85
昨年差	2 位	香港	6866	4761	144%	21
昨年差	3 位	タイ	6332	4419	143%	19
昨年差	4 位	米国	5416	4465	121%	10
昨年差	5 位	英国	964	747	129%	2
昨年差	6 位	豪州	1258	1152	109%	1
昨年差	7 位	シンガポール	761	711	107%	1
昨年差		中国	7709	7968	97%	-3
昨年差		韓国	3772	4107	92%	-3

## 9位：宮城県 仙台市宮城野区 仙台北（ショッピングモール）前年比106%

昨年差	1 位	台湾	16123	13843	116%	23
昨年差	2 位	タイ	1766	787	224%	10
昨年差	3 位	香港	3563	2722	131%	8
昨年差	4 位	米国	220	135	163%	1
昨年差		中国	1599	1715	93%	-1

## 42位：宮城県 仙台市青葉区川内（東北大・本丸跡）前年比129%

昨年差	1 位	台湾	2877	1071	269%	18
昨年差	3 位	タイ	726	0		7
昨年差	2 位	香港	725	211	344%	5
昨年差	4 位	米国	710	507	140%	2
昨年差		中国	1147	1292	89%	-1
昨年差		韓国	0	193	0%	-2

## 5位：宮城県 松島町 松島（松島海岸周辺） 前年比211%

昨年差	1 位	台湾	23,268	11,621	200%	116
昨年差	2 位	香港	6,344	3,581	177%	28
昨年差	3 位	米国	2,875	1,145	251%	17
昨年差	4 位	中国	2,732	1,601	171%	11
昨年差	5 位	豪州	572	140	409%	4
昨年差	6 位	韓国	1,081	941	115%	1
昨年差		タイ	3,146	3,296	95%	-2

## 15位：宮城県 仙台市青葉区 霊屋下（政宗公廟） 前年比136%

昨年差	1 位	台湾	5761	2784	207%	30
昨年差	2 位	香港	1520	858	177%	7
昨年差	3 位	米国	2176	1556	140%	6
昨年差	4 位	中国	3463	2984	116%	5
昨年差	5 位	タイ	1223	1090	112%	1
昨年差	6 位	豪州	147	78	188%	1
昨年差		韓国	869	1245	70%	-4

再掲



# <秋田県> 今期の東北ベスト55位内・1kメッシュエリアランキングで上昇箇所の動向

・ベスト55位内で前年差増加の箇所の右記3エリアは、主に台湾と香港が寄与している

・個人旅行の情報の消化力が高く、台湾と香港では、秋田の史跡・伝統芸能&グルメ情報を理解し共有し増加していると推定

・タイは角館において上位国となってきた。持続的成長のために角館起点としたコンテンツ造成等が重要となってくる



1-12月累計旅行客数		同 前年比	同前年 差 (百人)
今期	昨年		

## 26位：秋田県 秋田市 手形（秋田駅前東側） 前年比152%

昨年差	1	位	台湾	5148	2319	222%	28
昨年差	2	位	香港	2788	1488	187%	13
昨年差	3	位	中国	1399	646	217%	8
昨年差	4	位	米国	1210	818	148%	4
昨年差	5	位	韓国	734	766	96%	0
昨年差			豪州	170	317	54%	-1
昨年差			タイ	294	534	55%	-2

## 33位：秋田県 仙北市 角館町 前年比132%

昨年差	1	位	台湾	7340	3312	222%	40
昨年差	2	位	香港	2647	1551	171%	11
昨年差	3	位	タイ	1314	695	189%	6
昨年差	4	位	中国	771	173	446%	6
昨年差	5	位	米国	514	168	306%	3
昨年差	6	位	韓国	201	129	156%	1
昨年差			豪州	107	162	66%	-1

## 51位：秋田県 秋田市 中通（秋田駅前西中心街） ランク入り

昨年差	1	位	台湾	2312	0	ランク入	23
昨年差	2	位	香港	1058	0	ランク入	11
昨年差	3	位	中国	845	0	ランク入	8
昨年差	4	位	米国	504	0	ランク入	5
昨年差	5	位	韓国	119	0	ランク入	1

## (54位：秋田県 仙北市 田沢湖田沢 湖畔東側 前年比81%)

昨年差	1	位	中国	929	103	902%	8
昨年差	2	位	香港	1275	834	153%	4
昨年差	3	位	米国	185	0		2
昨年差	4	位	タイ	313	162	193%	2
昨年差	5	位	台湾	4654	4569	102%	1
昨年差			韓国	357	591	60%	-2

# <山形県> 今期の東北ベスト55位内・1kメッシュエリアランキングで上昇箇所の動向

- ・蔵王は台湾・香港・中国・タイの順で大きく増加し、夏期以外は増加傾向
- ・蔵王起点もリピーター向けのルート形成や親子向けのコンテンツ造成が重要になってくる
- ・タイは上位国となってきた。持続的成長のために、リピーターを意識した施策等が重要となってくる



			1-12月累計旅行客数		同 前年比	同前年 差（百人）	
			今期	昨年			
19位：山形県 山形市 蔵王温泉（バスターミナル〜ゲレンデ） 前年比145%							
昨年差	1	位	台湾	6485	3984	163%	25
昨年差	2	位	香港	3410	1905	179%	15
昨年差	3	位	中国	1348	565	239%	8
昨年差	4	位	タイ	1865	1086	172%	8
昨年差	5	位	米国	395	204	194%	2
昨年差			豪州	626	682	92%	-1
昨年差			韓国	376	755	50%	-4
36位：山形県 天童市 老野森（天童駅東北エリア） 前年比103%							
昨年差	1	位	中国	975	287	340%	7
昨年差	2	位	香港	1388	901	154%	5
昨年差	3	位	台湾	7125	7021	101%	1
昨年差	4	位	タイ	85	0	-	1
昨年差			米国	169	240	70%	-1
昨年差			韓国	163	266	61%	-1

## 再掲

8位：山形県 尾花沢市 銀山新畑（銀山温泉） 前年比141%						
昨年差	1 位	台湾	16,178	10,204	159%	60
昨年差	2 位	タイ	2,981	1,138	262%	18
昨年差	3 位	香港	5,196	3,423	152%	18
昨年差	4 位	中国	984	362	272%	6
昨年差	5 位	米国	709	178	398%	5
昨年差	6 位	シンガポール	391	182	215%	2
昨年差	7 位	韓国	354	185	191%	2
11位：山形県 山形市 香澄町（山形駅東口） 前年比149%						
昨年差	1 位	台湾	9960	5285	188%	47
昨年差	2 位	香港	3875	1686	230%	22
昨年差	3 位	中国	1417	717	198%	7
昨年差	4 位	タイ	2646	2252	117%	4
昨年差	5 位	米国	1106	986	112%	1
昨年差	6 位	豪州	299	342	87%	0
昨年差		韓国	463	883	52%	-4

# <福島県> 今期の東北ベスト55位内・1kメッシュエリアランキングで上昇箇所の動向

ベスト55位内で前年差増の  
右記4エリアは、主に台湾とタイ  
が牽引した。香港も増加。

・タイは昨年より増加傾向にあり、  
上位国となってきた持続的成長  
のためにはリピーターを意識した  
施策等が重要となってくる

・ベトナムはチャーター便等の効果  
が表れていると推定される



1-12月累計旅行客数		同 前年 比	同前年 差 (百人)
今期	昨年		

## 23位：福島県 下郷町 大内（宿） 前年比156%

昨年差	1 位	台湾	9986	6173	162%	38
昨年差	2 位	香港	2626	1111	236%	15
昨年差	3 位	米国	548	294	186%	3
昨年差	4 位	タイ	4406	4160	106%	2
昨年差	5 位	中国	194	0	-	2

## 35位：福島県 郡山市 堂前町（郡山駅南西エリア） 前年比126%

昨年差	1 位	台湾	1528	841	182%	7
昨年差	2 位	タイ	1052	425	248%	6
昨年差	3 位	香港	368	0	-	4
昨年差		米国	684	789	87%	-1
昨年差		中国	2006	2321	86%	-3

## 39位：福島県 福島市 太田町（福島駅前西） 前年比107%

昨年差	1 位	台湾	1163	113	1029%	11
昨年差	2 位	タイ	1536	990	155%	5
昨年差	3 位	米国	1108	805	138%	3
昨年差	4 位	香港	341	164	-	2
昨年差		韓国	0	205	0%	-2
昨年差		中国	1330	1666	80%	-3

## 41位：福島県 会津若松市 追手町（鶴ヶ城） ランク入り

昨年差	1 位	台湾	2981	0	ランク入	30
昨年差	2 位	タイ	1982	0	ランク入	20
昨年差	3 位	香港	1209	0	ランク入	12
昨年差	4 位	ベトナム	333	0	ランク入	3
昨年差	5 位	米国	330	0	ランク入	3
昨年差	6 位	中国	130	0	ランク入	1